

手工具を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	12～13	当社工場内の洗い場において、桜の葉を洗う為、桜の葉の束が入ったビニール袋を左手で持ったまま包丁で開けようとしたところ、袋を持っていた左手の内側の薬指に包丁の刃を誤って接触させてしまい負傷した。	74	10104	8	30～49
2017	1	9～10	冷凍カボチャを包丁で切り刻む作業を行っていた際に、包丁が滑って左親指を誤って切ってしまった。	37	130101	8	100～299
2017	1	18～19	事務所内手術準備室にて、削蹄鎌で手入れをしている時に、削蹄鎌で手を滑らせ、右人差し指の背面を1.5cm程切る（第1関節～第2関節の間）。	26	170209	8	—
2017	1	12～13	鮮魚バックヤードでの作業中、はたいている時に脇見をしていたため、左示指の第一関節と第二関節の間を長さ5cm、深さ5mm切った。	57	80209	8	100～299
2017	1	16～17	工事（民間）の作業現場にて、カッターナイフで物を切断しているときに誤って力が入り、カッターナイフで右太腿を刺して負傷した。	59	30109	8	10～29
2017	1	15～16	会社敷地内の作業小屋にて、高圧ケーブルに被着を剥く作業中、右手でカッター・左手でケーブルを持って作業していたところ、カッターの刃が滑り、左手親指付け根に接触して受傷した。	24	30301	8	1～9
			1階外壁にて、サッシ下端のレベル墨を出している時、墨つぼ端部				

2017	1	11～ 12	のカルコが、端部カルコをコンパネに刺し墨つぼを引っ張ったところ、カルコがパネルから抜けて顔面に向かって飛んできて、目に当たり眼球損傷した。	27	30202	6	1～9
2017	1	20～ 21	店舗厨房にて、仕込みポジションで寒ぶりの皮引きの作業中、凍っていたため手元が狂って手が滑り、包丁で右手親指を切ってしまった。	30	140201	8	100 ～ 299
2017	1	10～ 11	店舗厨房にて、アボカドを切っている時、アボカドを持ったまま半分に切ろうとした為に、誤って包丁で持ち手である左手の人差し指を切ってしまった。	20	140201	8	—
2017	1	15～ 16	敷地内の資材置場において、プラスチック容器の切断作業中に、切断器グラインダーに左手人指し指が接触して、人指し指が切れた。	75	170209	8	—
2017	1	9～ 10	厨房内でキャベツを切っている際、固いキャベツだったので左手で包丁のみねを押させて力を入れて切ろうとしたときに手が滑り、包丁の先端の方で親指の下部分を切ってしまう。	63	80209	8	30～ 49
2017	1	12～ 13	店舗厨房にて、びん長まぐろを切っている時、まぐろが未解凍であったことと、まな板と包丁のふき取りができていなかったため、誤って包丁を滑らせてしまい、左手の親指を切ってしまった。	43	140201	8	50～ 99
2017	1	13～ 14	当社第3工場で、バッバリミキサー解体作業時、ドリルドサイド下側ボルトを緩めるために、ボルトへ交換ソケット、打撃めがねレンチをセットし、下側から上方向へ大ハンマーを打った3度目に交換ソケットが折れ交換ソケットが跳ねて、左頬に当たり被災した。	48	11301	4	300 ～ 499
2017	1	10～ 11	給食室において、給食で提供する「鶏肉と南瓜のオレンジソース」用の南瓜を包丁で切っていたところ、包丁が南瓜から抜けないため、力を入れたことにより、誤って左環指を切る怪我をした。	56	10109	8	—

2017	1	20～ 21	調理中に作業を早く終わらせようと考え、切るスピードを上げたが、ネギを押さえていた左手の指が開き、包丁を持っていた右手も動き包丁の角度が横向きになってしまった事で、左手薬指の根元と爪を包丁で切ってしまった。	24	140201	8	50～ 99
2017	1	16～ 17	会社内資材置場にて片付け作業中、固定されている足場板を分解するために常時ハンマーを使用する。その際に保護手袋を着用していたが、誤って左手親指を強打した。	20	30202	3	—
2017	1	15～ 16	当社A棟1階に於いて、常備書籍のセット組作業中に、商品を梱包しておいたストレッチラップをカッターナイフでその梱包を解こうとした際、誤って左手指を切ってしまった。	38	10702	8	10～ 29
2017	1	16～ 17	現場用（板金工事）の材料を加工作業中、材料の梱包をカッターで切る際、誤って材料を押さえていた左手を切り負傷した。	43	30209	8	1～9
2017	1	18～ 19	キッチン作業中、仕込み作業台でトマトをカットしている時、トレーニング中で声をかけながら、作業していたため、よそ見をして左手親指を包丁で切った。	19	140201	8	30～ 49
2017	1	16～ 17	製造現場にて、加工中に製品に入り込んで折れたドリルを、手直し作業により取り除こうと、反対側から刃物にてハンマーで叩いていたところ、その刃物が外れなくなり、外そうと万力に取り付け、強く締めつけた際に、締めつけた刃物が粉碎して飛び、その破片が左目に入ってしまった。	61	11301	4	50～ 99
2017	1	16～ 17	自社置場において、置場整理のため定規（木材）の釘を抜いていた所、誤ってハンマーで右母指を叩き負傷した。	24	30109	7	10～ 29
2017	1	9～ 10	店舗バックヤードでスライサーを使用してパンを加工している際に、不注意で左手薬指先端部分を切ってしまった。	22	140201	8	—
2017	1	11～ 12	住設リフォーム宅前の路上にて廃材長さ1m、太さ3cm角の木材を廃棄処分する為切断作業台に載せ、左手で押さえ右手で手引き鋸にて切断中体重をかけ過ぎて台が倒れ、自分も転んでしまい道路	44	30209	8	—

			に手をついた時に、鋸の刃が左手人差し指付け根あたりに接触し負傷した。				
2017	1	14～ 15	店内キッチンにて、黄色パプリカをカットしていた際、誤って包丁で左手拇指の付け根付近を切傷した。	38	140201	8	—
2017	1	18～ 19	店舗内厨房において、食材の仕込み作業中、包丁を使用して白菜をカットしていたところ、手元を誤り、白菜を押さえていた左手の中指を包丁で切り負傷した。	22	140201	8	10～ 29
2017	1	9～ 10	園内の厨房にて、給食用のほうれん草を包丁で切っている際に、左手の親指先を誤って切ってしまった。	41	130201	8	10～ 29
2017	1	9～ 10	当日の給食献立に使用する小松菜を包丁で裁断中に、自身の手に持っていた包丁が滑り、小松菜を押さえていた左手人差し指第一節先端部を切ってしまった。一度に大量の小松菜を処理しなくてはならず、滑ったと思われる。	44	10109	8	—
2017	1	11～ 12	惣菜作業室に於いて、さつま芋のカット作業中、包丁（刃渡り約20cm）を洗うため包丁を右手から左手に持ち替えたとき、包丁の刃が右手第2指付け根付近に接触し負傷した。	50	80209	8	10～ 29
2017	1	10～ 11	加工工場内において作業台の上でバイスに試験片を固定し、刻印を打つ作業中、刻印を左手で持ち、ハンマーを右手で持って試験片の刻印作業を行う際、誤って左手親指の付け根にハンマーが当たり負傷した。	20	11002	3	100 ～ 299
2017	1	17～ 18	店舗厨房にて、シンクで包丁を洗っている際、右手で持っていた包丁の手元が狂い、誤って刃の部分で左手親指を切ってしまった。	51	140201	8	100 ～ 299
2017	1	8～9	コイニングプレス前でボルトを締めている時、スパナレンチにかましていたパイプが外れてしまい、その反動でよろめき、後ろに置いてあった鉄パレットに頭部を強打した。	72	11009	19	10～ 29
			地下鉄車両の連結部棧板のヒンジのシム調整作業中、わりピンを				100

2017	1	11～ 12	抜くため、わりピン下部に位置していた穴にピン抜きを刺し、ハンマーでピン抜きを叩いていた際、ピン抜きが跳ね返り、左人差し指先をピン抜きと栈板の受金に挟まれた。	64	40101	7	～ 299
2017	1	15～ 16	建築現場にて、右手に釘打ち銃（釘の大きさL75）を持ち、間柱に釘を打つ作業をしていた。間柱の上部を終え、下部の作業をするためにしゃがんだところ、手に持っていた釘打ち銃で誤って左足を打った。	26	30202	8	—
2017	1	8～9	右手でハンマーを持って、ブロックの上を叩く時、誤って右手の小指を叩いてしまい、爪がとれた。	37	170209	6	1～9
2017	1	16～ 17	第1工場にて、タンク胴板用の開先加工機器の調整作業を行うために、固定ボルトを緩めようと右手に六角レンチを持って力を入れた。固定ボルトが緩んだ勢いで、六角レンチを持った右手がそのまま機器本体にぶつかって被災した。	25	11301	3	—
2017	1	9～ 10	開店準備の為、店頭のカウンター上で包丁を使用してかぼちゃの切り分け作業を行っていた際、包丁で左手中指を負傷し、出血が止まらなかったため縫合処置を受けた。	44	80201	8	1000 ～ 9999
2017	1	17～ 18	店舗内調理台にて、冷凍牛ステーキ肉を牛刀でカット仕込み中、誤って左手小指を負傷した。	19	80209	8	—
2017	1	11～ 12	钣金修理で入庫の車両右ドアのメッキパネルをカッターで剥がす作業をしていて、手元に力を入れ過ぎて滑り、左手小指を切ってしまった。	32	11701	8	10～ 29
2017	1	16～ 17	調理場内洗い場シンクにて使用した牛刀を左手に持ち、右手でスポンジを持って洗っていた時、他の社員から呼ばれたので、スポンジを置いて呼ばれた方向にふりむいた際に右手拇指が刃に触れて負傷した。	34	140201	8	—
2017	1	15～ 16	畜産作業場で牛、外ももを成形中、包丁を使用し脂を取ろうとした際、脂ですべって左手小指を切った。	49	10109	8	100 ～

									299
2017	1	14~ 15	宿舎のガレージに於いて、屋根防水工事に使用する材料の梱包を カッターナイフで開封中に手が滑らせた際、左手親指の付け根に 刃が触れ切創した。	56	30202	8	—		
2017	1	9~ 10	自社工場内に於いて、台の上でマグネット式の厚さ4mmのゴム板 を右手で押さえ左手に持ったカッターナイフでカットする作業中 に手が滑り、右手人差し指を削ぐようにして切った。	32	30309	8	10~ 29		
2017	1	8~9	給食室でまな板の上に包丁を乗せて作業台へ移動中、包丁が滑 り、とっさに右手で押さえようとしたところ、包丁の刃が右中指 に当たり切創した。	49	10109	8	10~ 29		
2017	1	16~ 17	作業現場において、クレーン車で木を支えながら木を伐採してい たところ、コードリールの線に枝が接触して線が切れた。焦って 修理をしようとして、重さ7kgのコードリールを落としそうにな り、とっさに受け止めようとし、修理台にしていたアウトリガー とコードリールの上に左手人差し指を挟んでしまい、靭帯を負傷 した。	50	170209	7	30~ 49		
2017	1	10~ 11	食材のじゃが芋を切っている時に包丁がすべり、左手薬指の爪の 部分を四分の一程切った。	70	80209	8	1~9		
2017	1	13~ 14	二次クラッシャーに入る為、ナットを緩める作業中、ナットが緩 まない為大ハンマーで40cmスパナを叩こうとし、スパナに当たら ず近くの角に当たり、ハネ返って人差し指に当たった。原因は短 いスパナを叩こうとした為であり、再発防止策として、長いスパ ナやパイプを使用するように指導する。	45	10909	6	10~ 29		
2017	1	13~ 14	改造工事現場において、電線の化粧カバーをカッターナイフで切 り込み中、カッターナイフが滑りカバーを押さえていた左手親指 にナイフの刃が当たり負傷となる（保護手袋着用）。	18	30301	8	—		
			労働者派遣先にて、プラスチック射出成形機操作を終え、左手で						

2017	1	11~ 12	カッターナイフを使ってパージ作業を行っていた際、機械の警報音が鳴ったことに驚き、慌てて作業を行ったところ、誤って右手示指にカッターの刃が接触し、第一関節から付け根にかけて切創を負った。	53	10805	8	10~ 29
2017	1	11~ 12	労働者派遣先にて、プラスチック射出成形機操作を終え、左手でカッターナイフを使ってパージ作業を行っていた際、機械の警報音が鳴ったことに驚き、慌てて作業を行ったところ、誤って右手示指にカッターの刃が接触し、第一関節から付け根にかけて切創を負った。	53	170101	8	300 ~ 499
2017	1	21~ 22	擂潰作業中、調味料をすくう金属製のヒシャクの角が当たって切傷した。流水で流し、血を止めて作業をしたが、腫れがひどくなり、菌がついて化膿していたため、切開処置に至った。	31	170101	8	30~ 49
2017	1	21~ 22	1F擂潰作業中、調味料をすくう金属製のヒシャクの角が当たって切傷となった。流水で流し血を止めて作業をしたが、腫れがひどくなり、菌がついて化膿していたため、切開処置に至った。	31	10102	8	100 ~ 299
2017	1	12~ 13	厨房にて、厨房内の包丁置き場に包丁を片付けていた際、入っていた包丁で、誤って右手第四指を切り負傷した。包丁は右手に持っており刃は下向きであり、包丁入れにはもともと数本包丁が入っており、刃が容器に収まりきれいでいなかったため負傷した。	17	140201	8	10~ 29
2017	1	18~ 19	勤務先で、商品名のボート作成のためポリエステル製の板をカッターナイフで切断中、板がなかなか切れなかったため力を入れて手前に引いたところ、勢い余ってカッターナイフの刃が右大腿部に接触し、裂傷した。	22	170101	8	500 ~ 999
2017	1	9~ 10	事業所において、白ねぎの切り込み時に手が滑ってしまい、左手親指に包丁が落ちて損傷する。	35	140209	8	1~9
2017	1	13~ 14	小動物内蔵処理室（豚頭肉処理室）で豚の頭の脱骨作業中、左手で支えていた豚頭が滑り、そのはずみで右手に持っていたナイフで左腕を刺した。	29	150105	8	100 ~ 299

2017	1	9～ 10	建築中の部屋の壁に石こうボードを貼る作業中、ボードの面を取るためカッターナイフを使用していて、ボードが小さかったので滑り、左手親指を切ってしまった。	65	30202	8	1～9
2017	1	14～ 15	店内厨房において、包丁を使った鮮魚のたたき調理中、誤って左母指を切りつけ受傷した。	18	80209	8	50～ 99
2017	1	8～9	調理場でにんじんを裁断機で裁断中に、右手中指の先をそぎ落とした（厚さ5mm、幅・長さ7mm程）。原因は、にんじんを切る際に押さえ板で押し込まずに、手で押し込んだためである。	51	140209	8	1～9
2017	1	18～ 19	勤務先で商品名ボードの作成のため、ポリエステル製の板をカッターナイフで切断中、板がなかなか切れなかったので力を入れて手前に引いたところ、勢い余ってカッターナイフの刃が右大腿部に接触し、裂傷を負った。	22	80209	8	10～ 29
2017	1	14～ 15	ペティナイフでアボカドの種を取り出す作業中、アボカドが非常に堅かったため持ち手側の角を使うのを止め、ナイフの先端を差し込んだとき、誤って左手の手の平に刺し、手の甲部まで刺し抜き、左手を損傷した。	22	140201	8	30～ 49
2017	1	10～ 11	ブロイラー処理工場で、生鳥の肩と手羽を切り離す作業をしていたところ、誤って右手に持っていた作業用メスで左手の薬指を切創した。	44	10101	8	100 ～ 299
2017	1	9～ 10	朝の立ち上げ時、きゅうりが入っているダンボールの箱をカッターで切っている際、一度で切れず、再度箱を左手で上から押さえて切ったところ、勢い余って添えていた左手親指と人差し指の間を切り、3針縫合した。	62	80209	8	100 ～ 299
2017	2	9～10	牛舎内で去勢手術中にカッターで左手人差し指を切ってしまう、病院で縫合した。	32	70101	8	—
2017	2	9～10	野菜の下処理をしている際、左手に持っていた原料と右手のペティナイフを当てた時に、原料が滑りナイフの根元が左手の手の	37	10103	8	30～ 49

			ひらに当たり傷を負った。					
2017	2	9~10	派遣先にて、野菜の下処理をする作業中に、ペティナイフが手に持っていた野菜を貫通し、左手の手のひらに刺傷を負った。	37	170101	8	100 ~ 299	
2017	2	10~11	工場内印刷工場にて、印刷作業用シルク版セッティング作業中に、位置出し用ストッパーの貼り替え等を行っていた。当該作業の際、位置決めストッパーを両面テープで土台に貼り付ける為、調整貼り替え時には剥がす道具としてカッター状の刃を使用するが、剥がし作業時に刃先が滑り、ストッパーを押さえていた左手の甲に向かって刃先が流れ、挫創の状態となった。	48	10805	8	30~ 49	
2017	2	17~18	作業場で包丁を洗浄中、急いでいたため誤って刃に触れてしまい左手人差し指を切った。	40	80209	8	—	
2017	2	13~14	カウンター内で、レッドオニオンをスライスしようと、スライサーの専用カバーを外した際、誤って左手親指を切った。	20	140201	8	1~9	
2017	2	9~10	冷凍機ポンプ室内の制御盤の前で配線確認の際しゃがんだ時、足元にあった伸縮性の作業用工具バケツ下部にあった鋼鉄用ハサミが刃を上向きに保管されており左足脛内側に刺さる。	29	30302	8	1~9	
2017	2	23~24	店舗前室にてダンボールをカッターで分解していたところ誤って左手人差し指を切ってしまった。	18	140201	8	10~ 29	
2017	2	9~10	庭園で木の手入れをしていたところ誤って手から木ばさみを落とし、下にいた従業員（被災者）の頭部左前方部に当たり負傷した。	59	60101	4	1~9	
2017	2	10~11	鮮魚作業場でカルパッチョ用サーモンを包丁でスライスしている時、誤って左手親指を切ってしまった。	61	80209	8	—	
2017	2	9~10	給水設備工事に付随する道路補修工事中、同僚の操作する小型ユンボの近くで、バケツの操作し易いように、スコップで付近を均していた時、バケツが左手に持っていたスコップに当たり舗	37	30110	7	—	

			装部分とスコップの柄との間に小指が挟まれて骨折した。				
2017	2	11~12	新築工事現場において軒天を施行中、手のこぎりで野縁を切断していた際、誤って刃が左手人差し指の付け根に当たり、負傷した。	58	30202	8	—
2017	2	14~15	被災者は、当社においてダンボールシートをカッターにて加工中、誤って、カッターの刃を出したままシートをひっくり返したため左手指が刃に触れてしまい負傷する。	68	10602	8	10~ 29
2017	2	11~12	調理室においてキャベツの千切りをしていた。誤って包丁で左示指第2指骨と第3指骨の間を切ってしまった。	39	130201	8	30~ 49
2017	2	14~15	可動式日除け取り付け工事で、踏み台の上（2尺高脚立）で作業し、チューブ取り付け前の余り部分の切断作業をカッターで行っていたが切断できないため、力を込めた時、誤って自分の左手親指付近にカッターを刺してしまった。	19	30309	8	—
2017	2	16~17	店内キッチン洗い場にて、鉄板を片手で急いで棚に片付けようとしたところバランスを崩し左手首を捻り痛めた。大丈夫だと思いき様子を見たが痛みがあり後日受診した。左手首の三角線維軟骨複合体損傷と診断された。	24	140201	19	—
2017	2	11~12	事業所内にて包丁を使つての精肉作業中、後方に気を取られ後を向きながら豚肉をカットした際、誤って左手親指の先を切り負傷した。	19	80209	8	—
2017	2	15~16	作業場でかぼちゃをカットしていた際、かぼちゃが滑った為かぼちゃカッターの刃で左手親指（腹側）を切った。	53	80201	8	500 ~ 999
2017	2	13~14	フィルムの剥離作業に従事していた。右手に持った噴霧器の位置を整えるためスクレーパーを持っている左手で位置を整えようとした際に手元が狂いスクレーパーを右手に落下させ負傷した。	34	30309	4	—
			当社工場内にて加工品の修正作業中ハンマーで打ち込み作業の際				

2017	2	9~10	に右腕に痛みがはしり（1日8時間ハンマー打ち込み約1600回以上）右腕が上がらず右腕に力が入らなくなった。右腕に痛みがあったが、何日か右腕をかばい作業を続けていたため左腕にも痛みが出てしまい作業が出来なくなった。	50	11001	19	50~ 99
2017	2	16~17	園庭で枕木を設置中、枕木を支えていた手に他作業員が、セットハンマーを誤って振り落とし左手人差し指に当たり骨折した。	56	30202	7	—
2017	2	9~10	弊社内でかぼちゃカッターを洗浄した際、右手を負傷した。カッターを持ち上げ、まな板を洗浄中に刃に当たってしまった。	42	80209	8	50~ 99
2017	2	15~16	調理場にて刺身用の魚をさばいている際に、誤って包丁で左手人差し指を切創した。	17	140201	8	10~ 29
2017	2	16~17	当社店内の作業場において、商品の長ネギを包丁で切っていた時、つい力を入れ過ぎたため、包丁の刃先が長ネギを押さえていた右手に当たり親指を負傷したものである。なお、被災者は左利きであった。	42	80209	8	—
2017	2	11~12	銀行内食堂調理場にて、きんぴらごぼうの人参をカットしていたところ、補助さんと行員さん（お客様）との対応が気になりよそ見をしながら作業してしまった為、誤って自分の左手小指を切ってしまった。	53	10109	8	—
2017	2	11~12	調理室で冷凍里芋を包丁で切っている時、まだ里芋の解凍が少ししかされていない状況で、切ろうとしたため、里芋が滑ってしまい、バランスが崩れ、包丁で左手薬指腹部分を削ぎ落としてしまった。	41	130201	8	30~ 49
2017	2	10~11	小学校給食室の調理室で、たまねぎを包丁で切る作業をしている時に左手中指を切ってしまった。	53	120109	8	1~9
2017	2	14~15	中央店工事現場で、クロス貼りで使用していたパテベラを片付けの為、掃除していた際、誤ってパテベラで右手親指付根を切る怪我をした。	40	30209	8	—

2017	2	9~10	給食調理室の調理台で人参を刻んでいたところ、切り終わりの際に人参が不安定になり、包丁が滑ってしまい、左手親指の先を切創してしまった。	43	10109	8	100 ~ 299
2017	2	16~17	業務命令があり、個人宅の換気扇取り付け工事のための枠木の加工作業をしていた。場所は会社の敷地内工場である。夕方、右手にのこぎり（刃渡り30cm）を持ち、左手で材料の角材を押さえ、真横から切断していたところ、のこぎりがはずれ、左手親指の付け根を直撃し、負傷し、3針縫う。角材の寸法は、縦4.5cm、横4.5cm、長さ90cmである。	38	30203	8	1~9
2017	2	8~9	当社工場内で、豚枝肉のかけおろし作業（枝肉の分割作業）中、ナイフの勢いがあまって、左手首のあたりを3cmほど切ってしまった。	46	10101	8	100 ~ 299
2017	2	16~17	水菜処理のなぎ刃を落とし、刃が欠けた。資材庫に代替刃を取りに行った際、素手で新刃の袋を破る時に、破り損ね、刃が指に当たってしまい負傷に至る。	45	10109	8	50~ 99
2017	2	9~10	作業台上にて、ダンボール材を裁断中に、左手で押さえながら、右手に持ったカッターで手前に向かって裁断したところ、押さえしていた左手がカッターの進行方向へ滑ってしまい、左手第2指先端部の側面より指腹部の一部を挫創し皮膚表面を欠損した。	49	170101	8	30~ 49
2017	2	19~20	クリーンルーム工場で、金型成形機のカッターを作業台の上で取り外す作業中、六角ボルトが取り外せなかったため、成形機の反対側から成形機に上がり作業をし六角レンチが外れた勢いで1.5mの高さから飛び降りるように落下し、右足踵を骨折した。	43	11305	1	30~ 49
2017	2	15~16	社名の張り替え工事中に、スクレーパーで、軽いフィルムを剥がしていたが、その反動で、鼻に当たり負傷したものである。	58	30209	8	1~9
			作業機で、作業の片付けをしている時に、パイプカットに使用していたアートカッターの保護キャップが半挿しになっていることに気が付き保護キャップを置くまで押し込もうとした。手元まで				50~

2017	2	19~20	持って来た際は、保護キャップは付いていたが、手元から目を離れた間にキャップが脱落した。キャップの脱落に気付かず、左手のひらに刃先を押し当てた。	42	11403	8	99
2017	2	19~20	第一製造掛製造ラインで、作業が終了後に使用していたアートカッターを作業場から所定の保管場所へ移動させる際に、アートカッターの保護キャップが緩んでいた為、保護キャップをしっかりと嵌めようと、右手でアートカッターを持ち左手で保護キャップを押し込もうとした際に、保護キャップが外れアートカッターの刃先が左手のひらに当たり負傷した。	42	170101	8	50~ 99
2017	2	13~14	派遣先工場内の作業場にて冷凍わさびの茎が入ったプラスチック製のトンカチで叩きほぐす作業中、右手首（付け根～指先にかけて）に痛みを感じたがその後も作業を中断せずに続けた。帰宅後右手首（付け根～指先にかけて）が腫れ上がった。	46	170101	19	300 ~ 499
2017	2	13~14	作業場にて、冷凍わさびの茎が入った袋を樹脂製ハンマーで叩きほぐす作業中、右手首に痛みを感じた。特に報告することもなくその後も作業を続けた。帰宅後右手首が腫れ上がった。	46	10103	19	10~ 29
2017	2	11~12	店舗厨房にて、細巻きを切っている時に添えていた左手が近かったために、包丁で左手人差し指を切ってしまった。	23	140201	8	100 ~ 299
2017	2	8~9	野菜の納品後、検収室で白菜の芯を削ごうとした時手が滑りペティナイフで左示指末節を切った。	44	130201	8	—
2017	2	11~12	クレーン作業時に必要となる足場を作成中、H鋼をバールで、てこの原理で持ち上げようとした瞬間、バールが外れてしまいH鋼（12mm）が落下し左中指先端が挟まれ損傷した。	70	30201	7	10~ 29
2017	2	12~13	作業場で包丁を使用して豚ウデ肉を整形中に、包丁の進行方向に添え手を置いており、脂で包丁が滑った時に左手人差し指を切ってしまった。包丁の切れ味が良かったのと、肉から出るドリップ	49	80201	8	100 ~ 299

			の拭き取りが不十分だった事で、滑りやすい状態だった。				
2017	2	20~21	調理場において、玉ねぎを切っている時に誤って手が滑り、左手親指を包丁で切ってしまった。	17	140201	8	—
2017	2	10~11	貨物を固縛するための紐を段取り中、カッターナイフが無かったので付替え用の刃だけは使用して紐を切っていた時に誤って左手人差し指で切った。	58	50202	8	—
2017	2	14~15	駅間の軌道内で支持物基礎掘削に伴う木矢板打ち込み作業を行っていた。前日までは手打ち道具で打ち込みしたが効率が悪いのでハンマードリル工法に変更した。この時、木矢板天端にセットした専用金具がハンマードリルの振動に耐えられず破損し、木矢板から外れ、ハンマードリルが滑り落ちて、ハンマードリルの取っ手金具と木矢板天端で左手親指を挟まれた。	34	30104	7	—
2017	2	13~14	冷凍マグロのさく取り中、包丁が滑り、マグロを支えていた左手薬指先端に包丁が当たり、その部分を削いだ。	34	80209	8	—
2017	2	14~15	鮮魚コーナーにおいて、鮮魚の袋詰め作業を行っていたところ、左方向へ振り向いた時、左側で鮮魚を調理していた他の従業員の包丁で、右手薬指を切った。	44	170209	8	—
2017	2	14~15	キッチン内で、スライサーで切った肉をさらに包丁で細かく切り、包丁に乗せて番重に入れようとした際に、包丁がスライサーに辺り、反動で右手小指を切ってしまった。	38	140201	8	10~ 29
2017	2	16~17	被災者（以下、「甲」という）は就業先の美容室にて、来店客の髪をカットしていた際、誤って左手人差し指を使用していた鋏で切り、負傷した。	46	80301	8	—
2017	2	9~10	営業所のバス駐車場でホイルナットを締めるためにナットボックスを被せてその上にトルクレンチ（L字型のパイプ）をはめて、下へ押した。力を入れた時ナットボックスが、きちんと被さっておらずトルクレンチが外れた。その弾みで地面（アスファルト）と	56	40202	7	50~ 99

			トルクレンチの間に指先を挟んだ。				
2017	2	17~18	状況として産業用袋製造工場内で商品下部のセット作業（商品の下部排出口（直径40cm、高さ40cm）円筒形の部分を高さ約20cm内側に折り込む）において、当該円筒形部分高さ40cmを約20cmに内側に折り込む時、左右両手の指先で排出口縁を掴む際に左手に持っていた鋏で右環指と右小指を突き、切ってしまった。原因は左手にハサミを持っていたこと。	63	10204	8	10~ 29
2017	2	17~18	出店したいという他社からの依頼により、研修の受け入れを行った弊社店舗へ出向（研修）中に、労災が発生した。肉切り台で作業をしている者に対し、包丁の様子がよく見えるようにと被災者が右側に立ち、見ていた。両社の間には、バットがあり肉切り台から落ちそうになった。落ちるのを防ごうと両者共とっさの判断により、手を出した。肉切り台での作業者は包丁を持ったままだったため、被災者の手に当たり怪我をした。	31	140201	8	—
2017	2	11~12	工場内で、じゃがいもを切っている際、じゃがいもが包丁にへばり付き取れなかったため、包丁を左手で持ち右手でじゃがいもを取ろうとした時に手が滑り右手指を負傷したものである。	47	10109	8	30~ 49
2017	2	9~10	廃水作業から出る余剰汚泥を肥料に加工して、紙袋に15kg詰めている。紙袋をビニールひもで結束する作業中、ビニールひもを、農作業の鎌を使用して切っていた時、誤って鎌先が、ゴム長靴の上から当たり作業者のゴム長靴を超えてくるぶしを負傷した。	46	10109	8	30~ 49
2017	2	16~17	派遣先にて、船舶及び橋梁部品に付着しているノロを専用工具（カス取り）で除去作業中に取りづらいので力を入れて自分の方向に工具を向けた状態でノロを除去しようとした際に部品からノロが浮いた状態となり、細くとがった先端が左指へはめていた皮手を突き破って刺さった。皮手着用していた。	25	170101	8	50~ 99
			樹脂用難燃剤製造工程の1階にてストレーナーの清掃作業を実施した後、ストレーナーの蓋を閉めるため締め込みハンドルの中に空				500

2017	2	14~15	のパイプを差し込み自分方向に力を加えたところパイプが突然抜け、後方に尻もちをついた。	54	10802	19	~ 999
2017	2	19~20	店内厨房にて、カツを切る作業中、ピーク時だったため慌てており、誤って左手親指の爪の付け根辺りを包丁で切ってしまった。当日早退し、病院を受診し、5針縫合した。	19	140201	8	10~ 29
2017	2	10~11	厨房内の調理場で昼食の準備のため、包丁でじゃが芋のいちよう切りをしていた際、誤って包丁で左手中指を切ってしまったものである。	29	10109	8	—
2017	2	10~11	調理室において、数名で野菜の切り込み作業を行っていた。本人がまな板の上でキャベツの短冊切を行っていた際、葉が滑り、右手に持っていた包丁の刃が当たり、左手の人指し指第一関節辺りの内側を1cm程切ったものである。	56	120109	8	10~ 29
2017	2	8~9	調理室において、給食の調理中、左手に人参を持ち、人参の上下を切り落としていた際に包丁が滑り、左手小指を切った。	50	10109	8	50~ 99
2017	2	8~9	工場内において玉ねぎカット作業中、誤って包丁で左手中指の指先を切り負傷した。	61	10109	8	30~ 49
2017	2	9~10	調理室において、当日の献立の食材であるサツマイモを、包丁を用いて縦に三等分に切ったところ食材が固く、包丁を持つ右手に力が入っていたため、操作を誤り、食材を押さえていた左手の親指付け根付近を切ってしまった。	52	80209	8	1~9
2017	2	6~7	鮮魚部作業場においてサーモンのブロックを刺身に切る作業をしている時に、右手で持っていた包丁の刃が左手人差し指に当たり魚と一緒に指を切ってしまった。	38	80209	8	50~ 99
2017	2	13~14	サトウキビ畑でキビの苗取りを鎌を使って行っていた。（キビ茎のカット作業。）誤って鎌で左手の甲を手袋の上から切ってしまった。1人で作業中だった為、自分で病院へ行き、12針縫う治療をした。	55	60101	8	10~ 29

2017	2	10~11	現場（飲食店）にて、照明器具のネジ締めを行っている時、手が滑ってドライバーを手に刺した。	44	30203	8	—
2017	3	16~17	工場機械室で冷凍機停止作業中、頭の上くらいの高さにある冷凍機バルブのボルトをレンチ（長さ50cm、重さ2.3kg）で緩めるため力を入れたところ、レンチがボルトにはまっておらず外れ、左膝に落とした。	68	10102	4	50~ 99
2017	3	13~14	加工場内でホタテの寿司ネタを整生加工中、包丁で誤って左手親指を切った。	61	10102	8	30~ 49
2017	3	15~16	レストラン厨房内で包丁を洗浄中に左手親指を切り、10針縫った。	59	140209	8	10~ 29
2017	3	9~10	給食調理室において、スープに入れるチンゲン菜をまな板の上で包丁で切り、水をはったボールに入れる作業中に、バラバラになるチンゲン菜の葉っぱを押さえながら切っていたところ、左手の人差し指の指先を爪ごと切り落とした。	36	120109	8	10~ 29
2017	3	10~11	当事業所内の作業場において、肉の入った袋を包丁で切ろうとしたところ手元が狂い、左示指を負傷した。	39	80109	8	10~ 29
2017	3	16~17	店内の作業台で、スペースボードの上に定規を添えて左手で定規を押さえ、右手にカッターナイフを持ってボードを切っている最中に力を入れ過ぎてしまい、定規からナイフが外れ左手の中指の爪と皮膚を5ミリ位切って負傷した。	22	80203	8	1~9
2017	3	15~16	カウンター内でレッドオニオンの仕込み作業中、素手でスライサーを使用し人差し指を切った。	19	140201	8	10~ 29
2017	3	20~21	自社工場内において、ハンマーを使って鉄板を伸ばす作業をしていたところ、鉄板を押さえていた左手小指を誤ってハンマーで叩いてしまい負傷した。その後も就業を続けていたが、患部にばい菌が入り手術が必要となった。	36	11701	7	50~ 99
			青果作業場にて商品のオレンジを試食用にするため包丁で切る作				10~

2017	3	12~13	業中、誤って手を滑らせ、包丁の刃が指に当たり、左拇指先端部を切創した。	44	80209	8	29
2017	3	0~1	入社以来、当社作業所内において、家具製造工程の一部で手作業でのサンドペーパー研磨作業を行っていた。右手拇指に軽度の痺れを感じ始めたがそのまま勤務していたところ、右手拇指に力が入らなくなり、動きも悪化し始め、右手拇指が開かない症状となった。	57	10501	19	
2017	3	10~11	お客様宅にて引越梱包作業中にカッターにてダンボールを切ろうとしたところ、勢いよく膝を切った。	43	40301	8	30~ 49
2017	3	15~16	包丁を砥いだ後、包丁の汚れをとるためにシンクに行き、そのとき左手で包丁を持ち右手で包丁の汚れを手でとろうとした際、包丁の刃に手がふれてしまい、右手人差し指第二関節部分を切創した。	68	80209	8	1~9
2017	3	15~16	被災者は、当社で機密書類破砕減容処理作業補助業務に従事していた。減容機の停止に伴い（休憩のため）出口に残っている解かれた紙が乾いて詰まってしまうのを防ぐため、バールで取り除こうとしたところ、バールと出口の金具の間に右手中指を挟み負傷した。	32	170101	7	100 ~ 299
2017	3	13~14	自社産業廃棄物処理場で、廃棄物を分別作業をしている時に、電線くずをカッターで金属とプラスチック類に切り分ける際、カッターをすべらせてしまい、電線くずを押さえていた左手を切りつけてしまった。	34	80209	8	10~ 29
2017	3	21~22	店舗内調理場にて、まな板で焼きあがったイカー一夜干しを切ろうとした際、誤って包丁で左親指を先を切った。	35	140201	8	10~ 29
2017	3	12~13	店内調理場にて焼鳥の串打作業中、もも肉を包丁で切っていたところ、誤って添えていた左手薬指に包丁が触れ切った。	19	140209	8	50~ 99
			青果作業場でにんじんを野菜スライサーでスライスしている時、				100

2017	3	12~13	誤って右手親指を刃に刺した。	44	80209	8	~ 299
2017	3	8~9	作業場でブロッコリーの芯を切ろうとした際、芯が固く力を入れて包丁を押したところ、ブロッコリーを支えていた左手に包丁が当たり、人差し指を切った。	39	80201	8	30~ 49
2017	3	9~10	店内キッチンにて、フライヤーの清掃で油の一斗缶を開けているとき、誤って間の切り口に触れてしまい、右手中指を切傷した。	17	140201	8	30~ 49
2017	3	8~9	店の厨房で肉を切るため包丁入れから刃渡り約30cmぐらいの包丁を抜こうとした際、誤って手が滑り包丁が落下し、自分の右足ふくらはぎ部分に刺さり切傷した。	35	80209	4	10~ 29
2017	3	15~16	トレーサー4号機にて切断した130t×500×652の製品を6.7kgの大ハンマーで叩いて落とす作業中、振り上げた際に柵が折れ、大ハンマーのヘッド部が首に当たった。	32	11009	4	30~ 49
2017	3	21~22	店舗キッチン内においてスライサーを使用してキャベツのカット作業をしていたところ、誤って親指の指先を切り受傷した。	19	140201	8	30~ 49
2017	3	13~14	包丁を洗っている時に、左手に包丁を持って右手を下にしてしまい、包丁の刃が下を向いていたため滑った時に刃が右手人差し指に当たり負傷した。	31	80201	8	100 ~ 299
2017	3	9~10	加工場内で整形作業中、包丁が滑り左手を負傷してしまった。	25	10102	8	30~ 49
2017	3	17~18	店舗厨房内にてスタンバイ業務中、袋を包丁で切って開封する際に誤って左手人差し指を切り受傷した。	16	140201	8	30~ 49
2017	3	15~16	工場内において空気配管の修理作業中に、600mmモンキースパナで配管用エルボの締め付け作業を行っていたところ、スパナがエルボから滑り、エルボ脇に設置されているパネルの付属品に右手を強打し、右手薬指を負傷した（手袋着用なし）。	55	30302	3	10~ 29
			アルミ鋳物鋳造場で作業中、ヒシヤクを持って移動中、ヒシヤク				10~

2017	3	16~17	の先が物にぶつかり残った湯がハネて左足の安全靴の中に入った。	44	11102	11	29
2017	3	8~9	当院栄養部の下処理室にて野菜の切り込み作業中、包丁の刃が滑り、左手人差し指の爪、皮フを欠損した。	53	130101	8	100 ~ 299
2017	3	16~17	当社工場内に於いて、アングルを切断する作業をしているときに、鋼材を万力で締めていた時に誤って鋼材と万力の板との間に左手親指が挟まり負傷した。	34	11209	7	1~9
2017	3	11~12	ストレッチフィルム包装された品物のストレッチフィルムをカッターで剥がす際に、ストレッチフィルムを持っていた左手人差し指にカッターが当たり、指先15mm位を切ってしまった。	23	50101	8	10~ 29
2017	3	7~8	食鳥処理作業において、鶏の足（もみじ）を左手で持ち、右手に持っている包丁で勢いよく切断しようとしたところ、左手人差し指の第一関節爪側の皮膚に包丁の刃が当たり、皮膚の一部を剥ぎ落としてしまった。	21	10101	8	10~ 29
2017	3	10~11	加工場内で、包丁でりんごの芯をカットする作業中に、誤ってりんごを押さえていた左手の親指を切ってしまった。	69	10109	8	50~ 99
2017	3	13~14	ボーリングマシンで温泉掘削中、ロッド追管作業（ロッドを右手で押さえ左手でバイブレンチを持ち締める）をしている際、ロッドを支えているH鋼がずれ、体勢が前のめりで崩れ（体重が下に掛かる）、バイブレンチを持ったままH鋼に左手を着いてしまい負傷した。	38	30199	7	10~ 29
2017	3	10~11	会社敷地内の水道修理のため、人力で土砂の掘削中、スコップを勢いよく地面に突き刺した際、何か不明な異物にあたり、その反動で跳ねた土が顔に当たり、慌てて汚れた軍手で顔についた土砂を拭ったところ、右目に少し痛みを感じたがそのまま作業を続けた。後日、視界や瞬きの際に違和感を感じ、痛みが増した。	74	30199	4	1~9

2017	3	18~19	店内キッチンにて、包丁で野菜を切っていた際に刃が滑って、押さえていた左手に刺さり、左手拇指付近を切傷した。	17	140201	8	30~ 49
2017	3	10~11	清掃作業中に脚立から降りた際に、床に置いてあったドライバーを踏み捻挫した。	29	150101	19	1~9
2017	3	4~5	派遣先にてプラスチック製品をナイフでカットする作業中、左手に持ったナイフを滑らせ、右手薬を切り3針縫うケガをした。	31	170101	8	100 ~ 299
2017	3	15~16	事業場内で、次の段取りを話しながら、木材を手押しカンナで削っていて、材料の長さがもっとあると思って手を出したところ材料がなく、左手中指を削ってしまった。	45	10401	8	10~ 29
2017	3	14~15	配達先の個人宅庭において、冷蔵庫が入っていた段ボール箱をカッターナイフで処理する作業中、誤って手を傷つけた。	20	40301	8	1~9
2017	3	16~17	ハンドルを使って鉄筋の曲げをしていたとき、鉄筋からハンドルが外れ、ハンドルが肋骨辺りに当たり負傷した。	74	11209	6	1~9
2017	3	11~12	農産作業場で大根をカットしていた際、誤って左人さし指のつけ根を切ってしまった。	47	80209	8	100 ~ 299
2017	3	11~12	技術部試験室隅の小部屋でクッションタイヤ接着確認中に、部品（ゴムタイヤ）のゴム部分をカットしようと、カッターナイフで切り取る作業をしていたとき、力が入るように自分側に刃を向けて切り取ろうとした。力を込めた際に製品から抜け、勢いがあまり自分側に向いていた刃が右足膝付近にささり負傷した。	27	10806	8	100 ~ 299
2017	3	19~20	メッキ加工を終了し、分離機に付着した亜鉛をハンマー（80cmほどの長さ）で叩いて除去作業中、ハンマーで分離機を叩こうとした際に誤って分離機で右手を打ってしまい、右手を負傷した。	39	170101	7	50~ 99
2017	3	16~17	事業場の厨房にて、包丁を使い肉を切っている際、誤って自分の左手中指を切り負傷した。	21	140201	8	10~ 29

2017	3	9~10	木造2階建て、新築工事現場で上棟中に、12tクレーンで2階の梁材を吊り上げ2階へ搬入中、被災者は梁をボルトで緊結作業を行う時に左小指が吊り荷の下側にあり、そのまま吊り荷が下がり、緊結金具に小指を挟まれて切傷および骨折した。	35	10602	8	50~ 99
2017	3	8~9	トビを使って簡易土留工の作業をしていたところ、誤って左脛に当たり負傷する。	37	60209	6	10~ 29
2017	3	15~16	鰯の頭を半分に割ろうと両手で力を入れたとき、左手が滑り、左手を切ってしまった。	43	140201	8	1~9
2017	3	16~17	工事現場に於いて内装大工工事中、誤って左中指先端を金槌で打ちつけた。	36	30202	6	1~9
2017	3	8~9	木造の新築工事現場で階段取付造作作業中、ノミで溝堀をしている時に不注意でノミが左手親指をついてしまった。	34	30202	8	30~ 49
2017	3	15~16	石垣修復工事現場にて、石垣をつく作業（石を寸法に切る）をしている時、コヤスケを使用し、ハンマーでコヤスケを叩いて石を割っている時に、ハンマーがコヤスケに当たったときに滑り、ハンマーで左手を叩き負傷した。	39	30199	3	1~9
2017	3	13~14	本社工場加工場で、手押しカンナ盤を使用し1m40cm位の材木を加工している際、途中で引っ掛かったので手前に引っ張ったところ、木材が跳ねてその拍子に手袋が刃に巻き込まれ、慌てて手を引いたが左手小指先を怪我してしまった。	24	10401	7	10~ 29
2017	3	17~18	資材置場にて鉄板に付いた木板を剥がしていた時、鉄板と木板の間に工具と手を入れ、持ち上げようとした所、工具が不安定で手の方に動き、工具の刃が指に刺さった。	53	150102	8	1~9
2017	3	9~10	顧客の左後頭部の毛髪をカットしていた際に、右手に持っていたハサミで左人差し指を切って負傷した。	59	80302	8	10~ 29
2017	3	11~12	肥料の包装ビニールを小型カッターで切断中、先端が折れ、右目に当たり負傷した。	36	80209	4	10~ 29

2017	3	16~17	工場内で生コン作業中、コテを使い仕上げを行っている際、左の親指の付け根と手首から肘の間を痛めた。又、3月初旬頃から先輩社員が長期出張の為3人での作業を2人で1ヶ月程度行っており負荷がかかった。コンクリートの製造が全体的に体に負担がかかる業務である。	25	10901	19	1~9
2017	3	13~14	店舗厨房にて、洗浄場で洗浄作業中に、割れたガラスが水を貯めているホームボックスに混入しており、それに気づかず手を入れた為、ガラスで左手小指を切ってしまった。	34	140201	8	50~ 99
2017	3	16~17	鉄筋加工場において、電線取替作業中電線被覆を剥いている時、手がすべりカッターで手を切った。	29	30301	8	1~9
2017	3	14~15	新築工事現場にて、外構基礎工事のさし筋作業中、誤って石頭ハンマーで左手小指下あたりを打ち負傷した。	63	30202	19	10~ 29
2017	3	14~15	当社工場、出荷棟洗浄場手前付近にて、組立前塗装完了品のギャカバーを2個両手で持って移動中に、付近にあったバイス台に気付かず、ハンドルが左ひざに当たり床面に転倒した。その際、ハンドルにぶつけた左ひざ部分に打撲を負った。	69	11301	2	100 ~ 299
2017	3	14~15	厨房にて、生ゴミ入れ（ポリバケツ）の中に生ゴミ処理のため手を入れ、生ゴミを押し込んだ時、左手薬指に激痛がはしり、傷口が開き出血した。生ゴミ入れの中に包丁を落としていたことに気づかず、怪我をしたものである。	48	130201	8	50~ 99
2017	3	8~9	工場でカツオをさばいている時、誤って包丁で左手親指を切り負傷した。	59	10102	8	10~ 29
2017	3	16~17	コンベアから流れてくる親鶏のウイングの根本に包丁で切り込みを入れる作業中、集中力を欠いた状態で作業をしていたため、左手の人差し指第二関節と指の付け根の間、親指第一関節と指の付け根の間の皮膚を切り込んでしまった。	52	10101	8	100 ~ 299
			厨房入口のエアシャワーの修繕中、左手中指に金ブラシが刺さ				30~

2017	3	14~15	り、少量の出血があったがそのまま作業続行した。終業間際から痛み出し、夜中に痛みに耐えきれず救急搬送された。	44	10109	8	49
2017	4	16~17	当社工場において、加工台に添え木を打ちつける作業中、ハンマー（金属製）で誤って指を叩いてしまい受傷した。	29	30209	3	1~9
2017	4	17~18	当工場にて、型枠にスコップを用いて生コンを補充していた際、左ひじを痛めて左上腕外側上顆炎と診断された。	60	10901	19	30~49
2017	4	17~18	派遣先コンクリート工場にて、型枠にスコップを用いて生コンを補充していた際、左ひじを痛めて左上腕外側上顆炎と診断された。	60	170101	19	50~99
2017	4	19~20	厨房内にて、食材のカットをする際に左手の人差し指を包丁で切ってしまう、左示指神経損傷および左示指切創を負った。	16	80209	8	1~9
2017	4	16~17	水産作業場でぶりのアラを包丁でたたいていたとき、誤って押さえる左手薬指に包丁があたり切ってしまった。	30	80209	8	10~29
2017	4	9~10	天然ぶりのえら、内臓処理を行っていたとき、ぶりのえらを外す為に包丁を入れた際に包丁が滑り、押さえていた左手に向かい小指を裂傷する。	31	80209	8	50~99
2017	4	15~16	厨房内の作業台にて、夕食の仕込みのためネギの千切りをしていた際、誤って左手人差し指の第一関節と第二関節の間を約2mm程切創した。	59	140101	8	10~29
2017	4	13~14	社内工場内で整備者A、整備者B（被災者）とで大型トラックのトラニオンのピン脱着作業中、ピンの先に整備者Bが大ハンマーの頭部分をあて、整備者Aがその頭部分を別の大ハンマーで打ち込みしていたとき、整備者Aのハンマーの頭部分が柄からはずれ、トラックの荷台の床板とフレームにはねかえりながら整備者Bの右顔面に当たった。	46	11701	4	1~9
		9~	境内にある建物のリフォーム工事中、窓サッシを取り替えるため、専用のカッターを使って古いシーリングを外す作業をしている				

2017	4	10	た。左手で押さえながらシーリングを外していたところ、勢い余ってカッターで左手中指を切創し、第二関節の神経が切れてしまった。	21	30202	8	1～9
2017	4	11～ 12	自社工場内にてフロント部材の養生テープを切る作業中に、誤って左手小指の第二関節以下を切傷した。	35	80209	8	10～ 29
2017	4	0～1	品質管理室で樹脂を入れたガラスのカラムの側面を叩く作業を、1日に長時間継続して行っていた。そのため肩や肩甲骨の筋肉が炎症をおこし、背中・首・腕等に痛みが生じ、動かすことができなくなった。	40	170101	19	50～ 99
2017	4	13～ 14	第一工場仕上作業場において、カッターの刃を交換するため、替刃ケースのふたを開けようとした際、同じケースに保管してあった接着剤が漏れてふたの部分が接着されて開かなかったため、別のカッターで削ったところ、カッターが滑り左手親指を切ってしまった。	46	11709	8	50～ 99
2017	4	3～4	受傷者は、工場AMSラインの切粉搬出用のスラッジコンベア異常の連絡を受け、一人で現場に向かった。4レーンがスプロケットから脱線しているのを確認し、電源をOFFし、安全カバーを外して隣のマシンに立てかけた。外れたチェーンをバールで引っ掛けて、スプロケットに戻そうとしたとき現場は狭く、体勢は中腰に近かった。バールがチェーンから勢いよく外れた際に体重をバールにかけていたこともあり、立てかけてあった安全カバーとバールとの間に右手小指を挟んだ。	40	11502	7	500 ～ 999
2017	4	11～ 12	袋を開封する際にハサミが見当たらなかった為、目の前にある牛刀を使用したところ誤って左手の指を切ってしまった。	44	140201	8	10～ 29
2017	4	11～ 12	新築工事現場で、天井に張ってある断熱材のビニールをカッターで切っていたところ、カッターの刃が折れて左目に飛んで来て刺さり、左目を負傷した。	54	30202	4	1～9
		16～	店内厨房にて、刃渡り約15cmの出刃包丁で魚を解体している際、				10～

2017	4	17	手が滑り負傷した。	39	140201	8	29
2017	4	12～ 13	当社工場内にて、葱の皮むきで使っていた包丁のきれが悪くなったので、砥石を右手にもち、左手で包丁をもって砥石を上下させて研いでいた時に手が滑り、誤って右手拇指が包丁の刃に当たった。	57	80109	8	50～ 99
2017	4	15～ 16	工場内において、従業員がお客様の車の整備のため、リフトアップしてエンジンナンバーのボルトをゆるめようとした際、ボルトがかたく締まっていたため、力を入れてレンジを回した時、左足を捻って膝部分を負傷した。	35	11502	19	1～9
2017	4	11～ 12	給食センターの下処理室で、翌日使う玉ねぎの下処理を行っていたとき、左手に玉ねぎ右手に包丁を持ち、玉ねぎの芯を取り除く作業を行っていたところ、誤って左手のひらの親指の付け根あたりに包丁を突き刺してしまった。	42	10109	8	30～ 49
2017	4	8～9	調理作業中、キュウリの千切りを終え、包丁でかき集めてザルに入れようとした際、左手親指の付け根を切ってしまう。	46	120109	8	50～ 99
2017	4	12～ 13	店舗キッチンで、イタリアンパセリのみじん切りをしていた時に、不注意で左手人差し指を包丁で切った。	19	140201	8	30～ 49
2017	4	12～ 13	アビリティ倉庫でサイディングの材料（3m程の物）を運んでいる最中、工具につまづき、力んだところ肩から腰にかけて激痛がはしり、痛みがひかなくなった。	25	30209	2	1～9
2017	4	10～ 11	精肉作業場で牛の整形作業をしている時に、包丁で指を切った。	22	80209	8	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	現状回復工事において木製の棚（1.7m程度）を解体していたところ、右手に持っていたバールと横にあったスチール製の什器との間に左手、第2、3指を挟んだ。	26	30209	7	30～ 49
			調理場で冷凍食品を切る際、食材が固いため、包丁の峰に左手を				

2017	4	7~8	添えて切断していた。包丁に付着した油脂分で左手が滑り、刃先で手のひら（手首近く）を切ってしまった。	47	170101	8	10~ 29
2017	4	11~ 12	2階EVホールで建具（FIXサッシ、W=365mmH=2775mm）の取り外し作業を行っていた。エレベーターホール側よりセットハンマーにて建具下枠の中木部分をロビー側に平行移動させるため直接叩く際、作業を行っている建具の向かい側に立膝の姿勢で座っていたが、セットハンマーで下枠を直接叩いていたところ、手元がくるいハンマーが下枠に当たらず通過し、反対側に座っていた被災者の右足ひざ部分に当たった。	51	30201	6	1~9
2017	4	18~ 19	厨房で野菜を切っている際に指を切った。	66	140309	8	10~ 29
2017	4	17~ 18	店舗青果キャベツ売場で、会社指定のカッターを右手に持ちダンボールをカットする際、左手親指・左手手のひらを切り受傷した。	53	80209	8	50~ 99
2017	4	17~ 18	ゴルフ練習場にある社内店舗にて、お客様のグリップ交換中に、グリップ専用カッターを使用したところ、操作を誤り自分自身の手のひらを切ってしまった。	45	140309	8	10~ 29
2017	4	10~ 11	精肉作業場において牛肉の脂の除去作業中。包丁で手を滑らせてしまい左手中指を切ってしまった。	22	80209	8	100 ~ 299
2017	4	2~3	店にてパプリカカットの仕込み中、使用していた包丁で誤って左手の第二指を切ってしまった。	48	140201	8	30~ 49
2017	4	14~ 15	冷凍のハッシュドポテトを揚げるため1枚ずつはがそうとしたところ、凍ったポテトが重なりはがれにくかったため手でエンボス手袋をはめた状態で右手に包丁を持ち、刃先を商品と商品の間に入れて上から包丁を押したところ、商品を持っていた左手の親指に刃先がすべり、第一関節辺りに約3cmの傷を負う。止血処置を行	56	80201	8	50~ 99

			うが血が止まらなかった。					
2017	4	11～ 12	売場でカッターナイフを使用しダンボールをカットしようとした際、なかなか切れなかった為力を入れたところ、勢い余って箱に添えていた左手の親指と人差し指の間を約5cm切った。	56	80201	8	100 ～ 299	
2017	4	10～ 11	鮮魚作業場内にて包丁作業中、まな板に置いてあった包丁に自分の腕が当たり、包丁が自分の右足親指付け根に刺さった。	68	80201	8	100 ～ 299	
2017	4	10～ 11	コンテナシャーシのゴム（エアチャック）を交換するため、マイナスドライバーを使用して作業していた。ゴムが外れにくいため体重をかけた状態で上から下へ押し込んでいた所、ドライバーの先端が滑って外れたことによりバランスを崩し、右手首・左肘・左膝をシャーシに打ちつけた。	36	50201	3	100 ～ 299	
2017	4	9～ 10	作業場にて、マグロのサク取りを行っている時、マグロの脂で滑りやすくなっていた真板の上で滑ってしまい、包丁で左手親指を切った。	43	80209	8	50～ 99	
2017	4	11～ 12	厨房内で仕込み作業中、さつま芋を輪切りにして小さいさつま芋を無理に切ろうとしたとき、手が滑って左手の人差し指を切ってしまった。	46	10109	8	1～9	
2017	4	11～ 12	工務店の作業場でクランプしめつけ中に、工具がはねて手を切った。	44	30199	8	1～9	
2017	4	18～ 19	当該事業所において、包丁を殺菌液で浸漬殺菌し、殺菌後右手で引き上げようとしたところ、誤って手を滑らせ包丁を落としてしまい、左手中指に包丁が刺さった。	68	80209	4	30～ 49	
2017	4	21～ 22	厨房内で大根のかつら剥きの最中に、慣れていない作業だったのと、急いでいたため包丁で左手の親指を切ってしまった。	17	140201	8	10～ 29	
		10～	ホテルの厨房内において、エシャロット皮むき作業中に、誤って右手親指付け根を約1cm包丁で切り負傷した。その後、朝ブリー				50～	

2017	4	11	フィンク終了後に気分が悪くなり、床にしゃがみ込んだ後、右顔面から床に倒れこんだ際にメガネの破損による左瞼の創傷（約2cm）及び左肩を打撲した。	20	140101	8	99
2017	4	13～ 14	当社請負先作業所において、圧接したパイプのバリをハンマーと工具を使って取っていたところ、工具がかけて右腕にあたった。	69	11509	4	1～9
2017	4	14～ 15	自動車整備中、力を入れてボルトを回そうとした際に手が滑り、右手を鉄板にぶつけた。	33	80202	3	1～9
2017	4	13～ 14	店舗調理場内において、包丁を使用してトウモロコシの仕込み作業をしていたところ、包丁が滑り、左手人差し指を切った。	19	140201	8	30～ 49
2017	4	21～ 22	S-4成型機にて生産終了後、翌日生産の準備で金型表面にはまっている樹脂製模型を模型の穴にマイナスドライバーを差し込んで外す作業をしていた際、マイナスドライバーが穴から外れ滑った為、金型を持っていた右手親指付け根付近に刺さった。	40	10909	19	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	手動の紙切機で紙を切っている時、刃を引っ掛けていた部分が外れて刃が落ち、右手に当たり負傷した。	56	10602	4	30～ 49
2017	4	14～ 15	当社第2工場作業場に於いて被災時開先機（加工機）の刃を交換する為専用レンチでボルトを緩める際勢い余って横の刃に右手小指の付け根を強打し受傷した。骨折しているとは思わず様子を見ていたが、痛みが引かなかった。	29	11209	3	10～ 29
2017	4	10～ 11	牛と畜場内の牛背割りを行う所で、ホルスタイン種の牛枝肉を背割終了後に股カギ棒が牛枝から外れ、背割機ハンドルを持っていた左手甲の人差し指付け根から手首側へ2cm位の所に当たり、5mm位の裂傷と人差し指中手骨骨折を負った。	67	150105	6	30～ 49
2017	4	11～ 12	当事業所内の調理場にて、ランチタイムの準備作業をしている時に、調理に使用するオクラの袋を開ける際に被災した。食材の袋の開け方については会社として指導はしていなかったが、食材袋の開封などを想定し、はさみを常備していた。しかし、被災労働	43	140201	8	30～ 49

			者の独断で、時間短縮のために包丁で袋を開封しようと試みた。 袋を開けようと包丁を突き刺した時に、袋を持っていた左手の人差し指も一緒に刺してしまった。				
2017	4	17～ 18	店舗調理場内において包丁を洗おうとした際、右手に包丁の刃の部分当ててしまい受傷した。	30	140201	8	30～ 49
2017	4	9～ 10	青果作業場にてスイカを切っている時、誤って包丁で指を切ってしまった。	55	80201	8	100 ～ 299
2017	4	9～ 10	作業場で1.5tトラックの荷台に野菜の積み込みをしていた際、荷台の側アオリの上に乗った時にアオリの運転席側が固定されてなかった為、倒れて落下し左胸部を荷台に積んであった鉄柵（1,000mm×800mm×高さ1,000mm鉄製のコンテナ）に強打ち、胸部を骨折した。	45	80209	8	50～ 99
2017	4	16～ 17	倉庫でアルミサッシの塗装作業をするために作業台で梱包されたシートを刃幅40mmのカッターではがそうとしてシートが頑丈だったため、カッターを扱う力が余って刃先前方にあった左手親指を切った。	23	170209	8	10～ 29
2017	4	11～ 12	製造作業場所にて、カッターナイフでバナナを加工していたその際に手が滑って、誤って左手の薬指に当たって切り、出血がひどかった。	47	80209	8	50～ 99
2017	4	9～ 10	給食調理室内の下処理室で包丁を使用して、新たまねぎの芯をカットしている時に新たまねぎが滑り、包丁で左手親指を切った。	41	120109	8	1～9
2017	4	20～ 21	厨房にて、食材であるレンコンをキッチンスライサーでスライス加工中、誤って右示指をスライサーの刃で切りつけ受傷した。	36	170101	8	100 ～ 299
		10～	水産作業場において包丁を洗いカウンタークロスで拭いたとこ				100

2017	4	11	ろ、刃を掌に向けていたため左の掌を切った。	41	80209	8	～ 299
2017	4	12～ 13	厨房において葱の調理作業中、葱を掴み取った際に誤って葱の下の包丁と一緒に握ってしまった。	61	80209	8	10～ 29
2017	4	18～ 19	店舗厨房にてフライヤーの作業中、かぼちゃの袋を開ける際に誤ってカッターで左手中指を切ってしまった。	55	140201	8	50～ 99
2017	4	10～ 11	キッチンで肉をカットしている時、包丁を持とうとした時に手がすべり包丁を落とし、左手指に刃が当たった。	22	140201	8	50～ 99
2017	4	18～ 19	厨房のビールサーバーでジョッキグラスを左右の手に2個ずつ持ってビールを注いでいた。右手に持っていた2つのジョッキにビールを注ぎ終え台に置いたら、そのジョッキが台より落ちそうになったのでとっさに左手で受けようとしたところ左手に持っていた空のジョッキグラスが当たって左手の上で割れた。その時、左手（掌側）人差し指第一関節と第二関節の間を切った。	18	140201	8	30～ 49
2017	4	10～ 11	小学校内の給食調理場内で献立のベーコンポテトに使うじゃがいもを切っているときに包丁がすべり、じゃがいもを押さえていた左手の薬指の先を削ぎ落としてしまった。	39	120109	8	1～9
2017	4	10～ 11	厨房にてスライサーで野菜を切っていた際、誤って右手親指の先を切ってしまった。	55	80209	8	10～ 29
2017	4	9～ 10	院内健康診断受診に係る採血室での採血にて、血管が出にくい為、手首近く（甲側）に針を刺し、採血をする。採血後、採血部位に痛み及び痺れが生じる。数日が経過するが、痛み及び痺れが取れず、蛇口を回せない等、日常生活に支障をきたしている。	53	130101	8	500 ～ 999
2017	4	12～ 13	調理日用品売場内包丁展示ケースのそばで接客中、購入商品が決定したので展示品（包丁が蓋の開いた状態の箱に入っている）を右手に持ったまま左手で展示ケース内の商品を取ろうとしたとき、商品に気をとられるうちに右手の展示品の包丁が箱からこぼ	51	80201	8	300 ～ 499

			れ落ち、包丁の刃が親指の付け根に接触しながら滑り落ちて負傷した。				
2017	4	10～ 11	事業所の厨房にて、給食の準備をしている時、人参を切った際に左手小指を包丁で切ってしまう。すぐ止血を行うが、左手小指第2関節部分を4針縫う怪我となった。	35	130201	8	10～ 29
2017	4	17～ 18	工場内において製函作業中（エアー式の）釘打ち機を使用していた。打ち込んだ時に釘打機の先端が下に敷いていた鉄板に当たり、跳ね返った様になり誤って釘を右足の上に発射し、安全靴を着用していたが貫通してしまった。	60	10401	8	1～9
2017	4	22～ 23	作業場でスポンジを使用してかぼちゃカッターを洗おうとした際、刃を洗う時にスポンジから指がはみ出していた為、右手人差し指に擦り傷を負った。	22	80209	8	100 ～ 299
2017	4	11～ 12	小口外装箱（段ボール）を開封する作業中、被災者は開封するため荷捌カッターで縦に1本切れ目を入れ、右手に荷捌カッターを持ったまま切れ目に手を入れ勢いよく箱を開けたところ、箱と押さえていた左腕に荷捌カッターが当たり切創を負った。	35	80209	8	10～ 29
2017	4	8～9	当工場内において熱処理作業中、1号炉挿入部にバスケットが引っ掛かった為バールを使用し引っ掛かりを外していたところ、挿入扉が下降した反動でバールが跳ね、左顎に当たり負傷した。	51	11502	19	100 ～ 299
2017	4	20～ 21	現場でのサイン工事で使用するアルミ複合版（デラバン）をカット作業中、誤ってカッターの刃が脹脛に接触した。	30	30309	8	10～ 29
2017	4	9～ 10	給食室で給食に使うほうれん草を包丁で切っているときに、不注意で左拇指の端を自分で切断した。	36	120109	8	30～ 49
2017	4	18～ 19	厨房で調理中に包丁で誤って左手のひらを切ってしまった。	29	140101	8	30～ 49
2017	4	15～ 16	会社の工場です（普通車）のドアパネルを钣金していて反動で骨折した。	36	11701	3	1～9

2017	4	16～ 17	包丁を洗い終わり、ペーパーで水を拭き取る際に包丁が当たり切れた。	51	80201	8	100 ～ 299
2017	4	9～ 10	製造現場でフルーツの1号缶のフタを電動缶切機で開けた時、金属粉が落ちる可能性があるためその金属粉を除去しようと8000ガウスの棒状マグネットを自分の右側に置いてあったカゴの中から取り、フルーツの中をかきまぜて、元のカゴの中へ自分の感覚でカゴの中を確認せずに戻した。取った時にはなかった柄の付いたマグネットがカゴの中に入っていることに気づかず、置いた瞬間に引き合い、間に右中指を挟まれて負傷した。	45	10103	7	100 ～ 299
2017	4	13～ 14	会社敷地内の倉庫でホースを切る作業をしているとき、カッターで誤って左太ももを切ってしまった。	24	30199	8	10～ 29
2017	4	14～ 15	工場内出荷場にてポンプ出荷用の木枠をエア式釘打ガンを使って作成していたところ誤って自分の足に釘を打ってしまい、左足親指のところを負傷した。なお、安全靴は着用していた。	61	11301	4	50～ 99
2017	4	11～ 12	施設の台所で入居者の食事を調理中、大根を縦に切っていた時に誤って右手の薬指の手のひら側を包丁で切ってしまった。（被災労働者は左きき）	62	130201	8	10～ 29
2017	4	16～ 17	社屋の作業場で、木材に釘を打っていた所、手が滑って誤って金槌で指を強く打ってしまった。	30	30209	7	1～9
2017	4	7～8	水産作業場にて、約20kgのマグロを解体していたところ、マグロの背ビレを鮭切包丁で切った時に、包丁が滑り、そのまま添えていた左手親指にあたり切ってしまった。	47	80209	8	50～ 99
2017	4	11～ 12	調理場でかぼちゃを切っていた時、まな板の下にタオルを敷き切っていたが、かぼちゃが硬くすべり、左手甲を切ってしまった。	26	80209	8	1～9
		9～	浄化槽埋設工事現場にて、掘削作業で土中の石をハツリ工具にて				

2017	4	10	砕いているときに、ハツリ工具の先端が石から滑って、先にあった自分の左足甲に当たった。	35	30309	6	1～9
2017	5	16～ 17	個人住宅新築工事現場にて、当社大工職員が材料（断熱ボード）を運搬後、床に置こうとした時に腰袋が当たってその拍子に腰袋に入れていたノミ（幅3cm）が腰袋から突き出して右腿に刺さり、幅5cm・深さ1cm位の傷を負った。	24	30202	8	30～ 49
2017	5	8～9	店舗内作業場にて、刃渡り25cm位の包丁を使い、まな板の上で約5kgの肉の整形作業中、筋を取り除こうとした時に刃を研いだけばかりだったので、予想より切れ過ぎたため、肉を押さえていた左手の拇指に当たり切傷した。	31	80209	8	30～ 49
2017	5	12～ 13	作業場でスイカをカットしようともな板に置き、包丁を洗浄中、スイカが転がり受け止めようとした際に持っていた包丁の刃で左手中指を切った。	60	80201	8	500 ～ 999
2017	5	8～9	取り外した使用不可のヒーターゴムパッキンを廃棄処分するために、左手にゴムパッキンを持ち、右手にカッターを持って切断中、勢いが余って刃が左手人差し指に当たり切り、腱を断裂した。	25	10109	8	30～ 49
2017	5	17～ 18	店の厨房で、から揚げを作る準備をして、鶏肉を切っている作業の途中、誤って肉を押さえている左手を滑らし、右手で持っている包丁で左手人差し指の指先を切った。当初は痛みもあまり感じず、作業を継続していたところだんだん痛みが出てきた。	62	80209	8	1～9
2017	5	14～ 15	建築基礎工現場にて梁底型枠を取り外す作業中、ハンマーで型枠を叩きコンクリートから剥がす際にコンクリートに右手をぶつけた。	47	30201	3	1～9
2017	5	14～ 15	個人宅リフォーム工事で外壁の下地工事中に、水系を自分で張るため木にカルコをさし、水系をピンと張ったと同時にカルコが外れて飛んで来て、右目に当たってしまった。	32	30202	4	1～9

2017	5	18～ 19	フランスパンをスライスしている時、パンが固かったため滑って手を切った。	42	80209	8	10～ 29
2017	5	14～ 15	当社食肉の下処理室において、作業台に置いた牛肉（30kg程）のトリミング（下処理加工）を包丁を用いて行っていたところ力の加減を誤り、肉を切った反動により右目部分を負傷した。	34	10101	8	10～ 29
2017	5	16～ 17	病院調理室にて重さ10kgの業務用まな板を手で持って運搬中、手を滑らして左足第3指と第4指の付け根付近に落とし、左足に激しい痛みを感じた。	52	130101	4	300 ～ 499
2017	5	9～ 10	調理場にて、まな板上で冷凍カレイを捌こうとしたが、完全に解凍せずに硬い状態で包丁を入れた為、包丁が滑り、魚を押さえていた左手の小指の腹部分と中指先を削いだ。	27	80209	8	1～9
2017	5	14～ 15	布を裁断しようとして左手で押さえていた為、左手の中指と薬指の指先を誤って切ってしまった。	46	10301	8	50～ 99
2017	5	14～ 15	道路改良工事現場で基礎コンクリート型枠作業中に、型枠に木杭が長かったため切断しようとして、誤って自分の左手甲を手鋸で切創した。	35	30209	8	1～9
2017	5	9～ 10	給食室でほうれん草の切菜中に、包丁で不注意により右手人差し指を切ってしまった。	42	10109	8	1～9
2017	5	13～ 14	鮮魚作業場にてブリの加工中、包丁がブリのヒレ部分に引っ掛かり、強引に包丁を押し込んだところ勢いよく包丁が入り、魚を押さえていた左手薬指を切ってしまう。	59	80209	8	100 ～ 299
2017	5	0～1	店舗内キッチン（板場）でサザエの刺身を造る時、サザエの身をむき、サザエの身からフタを取る際、柳刃包丁を使用し、右手にサザエの身を持ち、左手で包丁を使用し、フタを剥がそうとした時に刃先が滑ってしまい、右手薬指先1cmを切断してしまった。	36	140201	8	100 ～ 299
2017	5	9～ 10	作業場で木材組立て作業中に中間がハンマーをおろした時、ハンマーで手を叩いてしまった。	37	30202	7	1～9

2017	5	16~ 17	加工課にて住宅のベランダ用のL字型手すりを組み立てる際に、ハンマーを使用して手すり材へアタッチメントをはめ込む作業をしている時、右手でハンマーを持ち、左手で製品を押さえて叩かなければならない作業で、両手をクロスして作業を行った為、ハンマーと左手が接近した状態だった。その際、誤って左手の小指をハンマーで叩いてしまった。	27	170101	7	100 ~ 299
2017	5	14~ 15	樹木に使う消毒液を取りに行った時に、ダンプから降りると同時に剪定ばさみが落ち、剪定ばさみの刃を踏み抜き右足親指を負傷した。	18	60101	8	1~9
2017	5	2~3	バーのパントリーにて、翌日のドリンクに使用する砕氷を作成する為に角氷をナタで削っていた際、刃先が氷を押さえていた左小指に触れ、皮膚が欠損した。	30	140101	8	500 ~ 999
2017	5	14~ 15	厨房内で野菜を切っている際、誤って包丁で左薬指を切った。	19	140201	8	10~ 29
2017	5	9~ 10	当工場マット仕上室において、仕上げ作業に使用するエアチューブの廃棄処分の為、鋏を使用し空気を抜く作業をしていた。新しい鋏を使用しエアチューブを刺す作業をしていたが、誤って自身の右手親指と人差し指の間を刺してしまった。	62	11703	8	30~ 49
2017	5	14~ 15	応援に行った店舗の厨房内で、マグロの仕込み（柵にする）作業中に、右手に持った包丁を押さえていた左手が刃先の方に滑り、左手の平を負傷した。	32	140209	8	10~ 29
2017	5	15~ 16	一般住宅建築作業現場内において内壁用の壁材を取り付ける際、専用の電動工具を持つ左手が滑り、誤ってビスを刺してしまった。	17	30202	8	10~ 29
2017	5	13~ 14	店舗厨房内にて、スープ用のげんこつ（骨）をハンマーで割っていたところ、誤って自分の右足にハンマーが当たり受傷した。	32	140209	6	100 ~ 299

2017	5	15～ 16	作業場で包丁を使用して鯛の頭を二等分に割る作業をした際に、添え手の置く位置が悪く、左手親指に包丁の刃が当たって切ってしまった。	61	80209	8	50～ 99
2017	5	9～ 10	型枠を解体中、バールを掛矢でこじて取ろうとしたが、誤ってバールの上に手がのって、掛矢で叩いてしまった。	73	30199	7	30～ 49
2017	5	3～4	事業場内にて鮮魚の加工中、包丁で魚の頭を切り落としていたところ、誤って左手人差し指の爪の辺りを深く切ってしまった。	33	10102	8	30～ 49
2017	5	13～ 14	工場にて、集塵機ファンの羽根をモーターから外す時に大ハンマーを打ち損ない（空振り）、ハンマーを持っていた右手薬指をファンのフレームにぶつけた。	63	30203	3	1～9
2017	5	11～ 12	店内一般部バックヤードで、右手にカッターナイフを持ち商品の入った段ボールの底切りをしていた際に手が滑り、左手親指爪の下の横辺りを切傷してしまった。傷が深く出血がひどかった。	54	80209	8	50～ 99
2017	5	12～ 13	店舗厨房にて仕込み冷蔵庫でまぐろの仕込み中、未解凍だったため包丁が滑ってしまい、左手人差し指を切ってしまった。	19	140201	8	50～ 99
2017	5	16～ 17	営業所へコンテナを持って行き、コンテナの後に付いているシール（封印）の番号を確認してもらった後にシールカッターで封印を切る時に、右胸の下の方に当たってしまった。その後、痛みはあるが仕事を続けていたところ、痛みが酷くなり、仕事に支障が出た。	49	40302	3	10～ 29
2017	5	12～ 13	惣菜加工場で家庭用スライサーで千切りキャベツをスライスしていた時、勢いよくスライスし、誤って左手指の爪を引っ掛けて切創した。	18	80209	8	1～9
2017	5	17～ 18	店内でスープのネギを仕込み中に、左の人差し指が何かのはずみで出たときに包丁が下りてしまい、手袋毎爪半分を切り落とした。	34	140201	8	30～ 49
2017	5	13～	キッチンで仕込み中、野菜を切っていた際に左手小指の指先を包	30	140201	8	30～

		14	丁で切ってしまった。					49
2017	5	16～ 17	事務所1Fにて資材棚作成の為、地面に単管を打ち込もうとした時に、誤って単管とハンマーの間に指を置いたまま、ハンマーで指を叩いてしまい左手人差し指を裂傷した。	20	170209	3		10～ 29
2017	5	12～ 13	厨房内の下処理場の作業台にて、鶏むね肉を切る作業中に肉用包丁で誤って左手の人差し指の先を切創した。	42	80209	8		1～9
2017	5	11～ 12	病院構内の樹木の剪定作業をしていた際、長く伸びた枝があったので鋸を使って切っていたところ、切っていた溝から誤って刃が飛びはね、左手の親指に当たり受傷した。	61	130101	8		10～ 29
2017	5	23～ 24	店舗厨房にて、にぎりポジションのラスト作業中、重量のある自動ロボのパーツを高い所に置いて作業台洗浄をしていたが、パーツを下ろす際に手が滑ってパーツを落してしまい、右手親指を切ってしまった。	20	140201	8		50～ 99
2017	5	15～ 16	キッチンでニラを切っている時に包丁で左手人差し指第二関節を創傷した。	23	140201	8		1～9
2017	5	9～ 10	ベンダー2号機にて作業中、1工程目の曲げ加工終了後、通常は左手でパイプを抜いて2工程目に移るところを、災害時は芯金が戻らず、パイプがなかなか抜けなかった。その時に2工程目の曲げ用治具が動いてきたため、パイプを持っていた手と治具との間に左手小指を挟まれ負傷した。	20	11502	7		30～ 49
2017	5	15～ 16	かぼちゃカッターの洗浄中、左手親指付け根が刃に当たり、幅1.5cm程度切れた。	40	80201	8		100 ～ 299
2017	5	8～9	厨房で仕込み作業中にレタスを切っている時、レタスを押さえていた左手の人差し指を包丁で切ってしまった。早く帰ろうとして気が急いってしまったことが原因である。	36	80209	8		1～9
		11～	職場の修理工場内において、車のボディのゆがみを直すためパイ					

2017	5	12	プレッチで修正をしていた際、車の下からかなりの力で引っ張っていた時、腰の骨がずれて動けなくなってしまった。	55	11701	19	1～9
2017	5	9～ 10	厨房において玉葱を切る作業中に左手小指の先を負傷した。	37	170209	8	1～9
2017	5	19～ 20	店の調理場でキャベツの芯を切り取っていて、斜めに切り過ぎて、左薬指の第1関節を切ってしまい4針縫った。	19	140201	8	30～ 49
2017	5	16～ 17	店舗内キッチンにて、長さ約30cmの泡だて器の柄を右示指の根元で押さえ、左手でボールを持ち、スポンジケーキ用に卵白を力を入れて泡立てる際、右示指に極度の負担がかかった為（同じ作業を1日に3～4時間、1週間程連続で行っていた）、徐々に痛みが増し、右示指を受傷した。	33	170209	19	10～ 29
2017	5	8～9	精肉作業場で豚肉の腕を整形している時、脂を削っている際に脂が少し硬く削りづらかった為、力を入れて削った時に包丁が滑って、肉を押えていた左親指を切ってしまった。	49	80209	8	50～ 99
2017	5	14～ 15	店内にてスペアリブをなた包丁でカット中に、誤って左手人差し指を切った。	69	80209	8	1～9
2017	5	23～ 24	調理場内において、揚げたトンカツ肉を切っていた時に包丁が滑り、左手親指を切断してしまった。	60	140201	8	1～9
2017	5	11～ 12	学校給食調理室で、調理後の洗浄中（釜洗い）に金属のヘラが当たり、左手のひらの親指の下辺りを切る。	33	10109	8	50～ 99
2017	6	8～9	店舗厨房内で、玉葱をカットしている時、玉葱がヌルヌルしていて滑ってしまい、包丁で左手の中指を切るケガを負った。	52	80209	8	1～9
2017	6	10～ 11	軟白ネギハウス内で杭打ちをしていたところ、誤って杭を押さえていた右手人差し指を金槌で打ちつけた。	25	60101	6	1～9
2017	6	7～8	作業前、バケツを置く台に包丁を置いた。作業後、バケツで手を洗おうと振り向いた時、包丁を置いた事を忘れ、包丁が左膝上部に当たり、切創した。	30	10101	8	100 ～ 299

2017	6	11~ 12	木造家屋解体現場で、足場パイプ打ち込み工事中に、単管を大ハンマーで二人で打ち込む作業をしていた時に、保持していた者がストップの声をかけて一度向きを調整しようとして、指をパイプの上に掛けてしまい、打ち手も既に打ち込みのために振りかぶっていたため止めることができず、指を直撃してしまい負傷した。	50	30202	7	1~9
2017	6	16~ 17	研修店舗の鮮魚作業場内で包丁を研ぐ作業中、砥石の上で包丁を手前に引いた時に包丁を押さえていた左手に力が入り滑って、左手中指に包丁の刃が当たり、2cm程度切る怪我をしてしまった。	17	80209	8	50~ 99
2017	6	9~ 10	人参を5cmカットしている時に、誤って包丁で左手人差し指を切ってしまった。	58	10109	8	100 ~ 299
2017	6	11~ 12	食堂厨房内において玉ねぎを切っていた時、手が滑ってしまい、左手薬指の先端を誤って切ってしまった。	53	140201	8	50~ 99
2017	6	14~ 15	会社内精肉センター内において、スライサー機の掃除中に刃が当たり、右手人差し指を負傷した。	26	10109	8	10~ 29
2017	6	11~ 12	会社食品加工場内において、南瓜カッターで肉を切断中、添えていた左手の親指を誤って切り、負傷したものである。	48	10101	8	30~ 49
2017	6	11~ 12	抜根・掘削時、バックホウの爪交換作業中にセットハンマーのヘッド部分と柄が離れてしまい、ヘッド部分が左手中指に当たり、被災した。	38	30106	6	30~ 49
2017	6	10~ 11	当社にて、サンドイッチのパンを右手で下から掴んで、左手に持ったナイフで切る作業中、左手に力が入りすぎて滑り、ナイフの刃がパンに添えていた右中指部位に接触し、切創して痛み、受傷したものである。	66	80209	8	10~ 29
2017	6	15~ 16	以前設置してあったパネル状の看板を撤去するため、壁面とパネルの間にカッターの刃を差し込み、両面テープをカッターで切る作業をしている時、誤って手元が狂い、カッターの刃が胸元に刺	31	170209	8	10~ 29

			さり、服が切れただけだと思ったが、出血し受傷した。				
2017	6	10～ 11	キャベツを4等分にカットし芯を取り除いた後に、切断面を下にし5cm角にカットしていた際に、予期せずキャベツの設置面がぐらつき倒れ、左手の中指に牛刀の刃が当たり、切ってしまったものである。	37	140201	8	30～ 49
2017	6	20～ 21	工場にて、リアデフ製品組立作業中、ハンドル（専用工具）を使用し締付作業をしていた。流れてくる製品の中にはネジ山が合わず、ネジ山を一度緩め合わせた後、締付作業をすることがある。締める作業は、右手でハンドルを持ち、左手をハンドル下部に添えて手前方向に一気に力を加えるが、ネジ山が緩んだ瞬間、その勢いで左手首を捻り関節を負傷した。	21	170101	19	500 ～ 999
2017	6	20～ 21	工場にて、リアデフ製品組立作業中、ハンドル（専用工具）を使用し締付作業をしていた。流れてくる製品の中にはネジ山が合わず、ネジ山を一度緩め合わせた後、締付作業をすることがある。締める作業は、右手でハンドルを持ち、左手をハンドル下部に添えて手前方向に一気に力を加えるが、ネジ山が緩んだ瞬間、その勢いで左手首を捻り関節を負傷した。	21	11502	19	500 ～ 999
2017	6	10～ 11	第一工場赤肉処理にて、包丁でタンの皮むきをしていた時、早く処理をしたい気持ちもあり、左手、手の平小指付根付近に包丁の先端が当たり、切ってしまった。	68	10101	8	50～ 99
2017	6	9～ 10	厨房でキャベツを切裁中に、誤って手元が滑り、左手薬指を切創してしまった。	44	80209	8	10～ 29
2017	6	11～ 12	作業中、機械の脇の高さ80cm位の作業テーブルの上に置いていた工具（ダクト用の金切バサミ、2.5kg、長さ50cm位）が、はずみで落ちかけていたのを左手で掴んだが、逆手で持ったので支えきれずに腕を捻った。	69	10209	19	1～9
2017	6	16～ 17	店内キッチンにて、サニーレタスを切っている時、誤って包丁で左手拇指の爪付近を切傷した。	25	140201	8	30～ 49

2017	6	14~ 15	厨房洗い場にて、使用した薄刃包丁の汚れを落とす為、洗剤洗浄の後に仕上げ用の砥石（3cm×3cm×1cm）を使っていた。左手に包丁の柄を持ち、右側に刃を向けて砥石を包丁の先端に向かって滑らせていたところ、勢い余って、右手拇指部分が刃に当たり、切創してしまった。	23	140201	8	1~9
2017	6	14~ 15	被災者は第一製鋼工場、一連続鋳造ラインモールドの銅板調整作業に、同僚3名と従事していた。被災者は、銅板調整のため、専用スパナで調整ナットを締め込む作業を開始した。専用スパナを調整ナットに掛け、引き上げるように締め込んだ際、専用スパナが調整ナットから抜け、被災者は後ろに転倒し、右足大腿部を設備架台に強打し負傷した。	65	11001	1	1000 ~ 9999
2017	6	13~ 14	インナードラムの製作作業中、レバブロックを使用し組立作業を行っていたところ、レバブロックが外れ、顔面（左下口の辺り）に当たり、負傷した。	69	11209	4	30~ 49
2017	6	15~ 16	店舗厨房にて、カッターを用いてパックを開封している際に、切り口の裏側に指を当てていたため、誤ってカッターで右手人差し指を切ってしまった。	22	140209	8	100 ~ 299
2017	6	17~ 18	デザインルーム（作業場）のデスク上にて、厚紙（商品パッケージ）を業務用カッターで裁断していたところ、定規を押さえていた左手親指のつけ根部分が、内側のカットラインに入ってしまったため、親指第一関節より上を深く切ってしまった。爪周り半周を創傷してしまったため、出血量が多く早急な縫合が必要になった。	25	90209	8	1~9
2017	6	9~ 10	当時、当社展示場1階作業場で、鉄製品の出荷前にサンダー（ワイヤーブラシ装着）を使いサビ落としの作業をしていたところ、手元から50~60cm程の顔面に3cm程のワイヤーブラシの破片が飛んでしまい、ゴーグルをしていなかった為、左目に刺さり負傷したものである。	27	11203	4	1~9

2017	6	11～ 12	自店舗にて仕込み作業中、肉の入った袋を包丁で開けようと、左手で袋を持ち、右手で包丁を使った際に、誤って包丁が手に触れてしまい、袋を持っていた左手の人差し指を切ってしまった。	32	140209	8	10～ 29
2017	6	14～ 15	正肉の仕込み中に包丁が滑り、左手親指を切り、腱を切断した。	39	140201	8	10～ 29
2017	6	14～ 15	店内厨房にて、キャベツを切っている際、刃渡り約24cmの包丁で負傷した。	58	140209	8	10～ 29
2017	6	16～ 17	ラボ内にて、洋菓子の金属製の焼成型を洗おうとして手が滑った。その際に思わず手を出してしまい、型の角で手を切った。	42	80209	8	10～ 29
2017	6	10～ 11	調理室内で昼食の調理中、包丁で右手指先を5mmほど切り落としてしまった。（左利き）	51	130201	8	10～ 29
2017	6	12～ 13	仕込室にて、他スタッフが人参のイチヨウ切りの切れ目を入れていたが、当該スタッフが形状の違いに気付いた。当該スタッフが短冊切りの形状に直そうと、不格好な形状の人参を切ろうとした時、不安定な状態で押さえていた左手から人参が滑ってしまい、勢いで左手中指・薬指の先を1～2mm切ってしまった。	62	80209	8	10～ 29
2017	6	12～ 13	仕込室にて、他スタッフが人参のイチヨウ切りの切れ目を入れていたが、当該スタッフが形状の違いに気付いた。当該スタッフが短冊切りの形状に直そうと、不格好な形状の人参を切ろうとした時、不安定な状態で押さえていた左手から人参が滑ってしまい、勢いで左手中指、薬指の先を1～2mm切ってしまった。	62	170101	8	300 ～ 499
2017	6	22～ 23	店舗厨房内洗い場にて、食器を洗浄中に、誤って食器を割ってしまい、その破片が左手薬指に刺さって受傷した。	49	140201	8	30～ 49
2017	6	18～ 19	派遣先事業所にて、軽ワンボックスの後輪タイヤを取り外し、ハブベアリングを引き抜く作業をスライディングハンマー（重さ5kg、鉄製）を使用して行っていた。その際、ハンマーを握っていた右手の小指を、ハンマーとグリップのつばの部分の間に挟み負	47	170101	7	300 ～ 499

			傷した。					
2017	6	18～ 19	当社店内で、受け入れた派遣労働者が、自動車の後輪タイヤを取り外し、ハブベアリングを引き抜く作業をスライディングハンマー（重さ約5kg）を使用して行った時に、ハンマーを握っていた右手の小指を、ハンマーとグリップのつばの部分の間に挟んで骨折した。	47	80202	7	10～ 29	
2017	6	20～ 21	店内厨房作業台にて、アボカドの種を取ろうと、左手に種付のアボカドを持ち、右手に持っていた包丁で種を取る際に手を滑らせてしまい、左手親指付根付近を切ってしまった。	15	140201	8	10～ 29	
2017	6	13～ 14	作業場において、冷凍マグロを柵に加工中、使用していた大出刃包丁が魚の表面で滑り、左手親指と人差指の間の腱を2本切断し、縫合手術を受けたものである。	23	80209	8	100 ～ 299	
2017	6	17～ 18	洋食キッチンで仕込み作業中、包丁で南瓜を切っていた時、南瓜を押さえていた左手が力を入れていたため滑り、右手で持っていた包丁の刃先に当たり、左腕を切ってしまった。	33	140101	8	100 ～ 299	
2017	6	9～ 10	調理室の切菜台の上でネギの小口切りをしていた時、一度に多量を切ろうとしたため、手が滑り、左手親指を切傷した。	42	80209	8	10～ 29	
2017	6	11～ 12	共同住宅新築工事の基礎工事にて、立ち上り型枠を立て込むためのセパレーターをベースコンクリートに、手打ちコンクリート釘にて固定を行った際、打ち損じた釘が跳ね返り、左目眼球に刺さった。その時、保護メガネはヘルメットの上であり、使用されていなかった。	27	30201	3	1～9	
2017	6	17～ 18	7階調理場にて、まな板上のタオルを左手で取ろうとした時、包丁の刃先がタオルに引っ掛かり、包丁が落下した。その際、反射的に右手で包丁を握ろうとし、小指の付け根に突き刺さり貫通し、筋の2/3が切れてしまった。	19	140101	8	100 ～ 299	
		16～	お客様宅にて活動中、手で玉ねぎを持って、スライサーで食材を				100	

2017	6	17	切っていた際、右手第三指の先端を切ってしまった。	54	130201	8	～ 299
2017	6	1～2	夜間水道工事切替作業時、既設管を切断後、バールを使ってその管を外す際、バールが滑り、バールと単管ジャッキの間に右手薬指を挟み負傷した。	38	30110	7	1～9
2017	6	13～ 14	水産作業室で刺身製造中、話しかけられたので包丁をまな板の上に置き、その包丁を取ろうとした時、目で確認しないまま包丁を握ろうとし、誤って刃の部分を握ってしまった為、右手小指の付け根を裂傷した。	25	80209	8	100 ～ 299
2017	6	8～9	作業場で包丁を使用してスイカをスライスしていた際に、添え手を置く位置が悪く、左手小指先をスイカと一緒に切ってしまった。	65	80209	8	50～ 99
2017	6	20～ 21	梱包作業工程で、残業時間に作業中、プラスチック製品を専用通函に梱包中、PPバンドで縛り、そのPPバンドをカッターでカットする際、左手で押さえていた薬指に当たり、腱を断裂してしまっ た。また、通常はPPバンドで結束するものではなく、それ用のストッパーがあるのだが、たまたま今回はその専用ストッパーが無 かった為、PPバンドで結束してしまっ た。次回からは、通常のスト ッパーで製品を押さえるようにする事で、再発防止に努めたい と考えている。	40	10805	8	30～ 49
2017	6	10～ 11	当社厨房内仕込み場において、玉ねぎを半分に切る作業中、誤っ て右手人差し指の先を切ってしまった。	34	140201	8	30～ 49
2017	6	11～ 12	当社店舗の厨房において、漬物の袋を開けようとして包丁で左手 の人差し指の第一関節辺りを切ってしまった。血が止まらず痛み もあった。	64	140201	8	1～9
2017	6	14～ 15	当社農場の畑内で三ツ葉の種取り中、鎌で左手の人差し指を切っ た。	21	80209	8	1～9

2017	6	16~ 17	店内の鮮魚作業場内で、まな板で作業中、ミートペーパーを取りに行こうと包丁を右手に持ったまま歩いていた時に足を滑らせてしまった。バランスを崩し、体勢を整えようとした際に、自身が持っていた右手の包丁（刃渡り約35cm）を左手首に刺してしまった。手の平側から反対側まで貫通し、救急で病院に運ばれ手術し、入院した。	56	80209	8	10~ 29
2017	6	13~ 14	当社作業所において、長さ1m位の塩ビのパイプに十字に取り付けられているパイプを外す為、塩ビのパイプを足で踏み、十字に付いているパイプをハンマーで叩いたところ、外れたパイプが飛んで来て、右目瞼に当たり負傷した。	75	150102	4	1~9
2017	6	9~ 10	工場36号棟2階クリーンルームにて、トルクレンチで製品のネジ締めを行っていたところ、ビット先端が折れて、勢い余って、添えていた左手の親指の付け根部に突き刺さった。	38	11301	8	500 ~ 999
2017	6	9~ 10	工場36号棟2階クリーンルームにて、トルクレンチで製品のネジ締めを行っていたところ、ビット先端が折れて、勢い余って、添えていた左手の親指の付け根部に突き刺さった。	38	170101	4	100 ~ 299
2017	6	9~ 10	デリカ洗い場で包丁をスポンジで洗っている時、手が滑って右親指付根に刃先が当たり、裂傷を負い二針縫った。	62	80201	8	300 ~ 499
2017	6	11~ 12	敷地内の草刈作業を行っていた時、鎌で竹を切ろうとしたところ、竹で鎌の刃が滑り、左手を負傷した。	69	30309	8	1~9
2017	6	18~ 19	金型整備作業において、組み込み部分のパーツを取り外す作業として、ハンマーの代わりに銅製の棒にて該当部を叩いていた際、右手小指を銅製の棒と金型の間挟んだため、小指先端を断裂し負傷したものである。	22	11102	7	50~ 99
2017	6	11~	小学校の給食室内で野菜の裁断中、オクラを裁断しようとしてネットから出し、台の上に置いた。全てのオクラをネットから出して、ネットを破棄しようとして集めていたところ、ネットの端が台	50	120109	8	—

		12	の上にあった包丁に引っ掛かって回転し、左手親指に接触し、左手親指を切傷した。				
2017	6	11～ 12	ユニットバスの解体作業時に、ユニットバスの壁材のタイルで右手首を負傷した。	49	30202	8	1～9
2017	6	15～ 16	厨房内で、キャベツの下仕込であるカット作業をしている時、前日に研いで包丁が切れやすくなっていたことと、カット作業に不慣れであったことから、誤って、添えていた左手人差し指を切ってしまった。	17	140201	8	50～ 99
2017	6	16～ 17	厨房で包丁を研ごうとした時、右手で包丁を持ったところ手が滑り、包丁が落ちそうになったので、慌ててうっかり刃を掴んでしまい、右手小指と中指の間に刃が入り切傷した。その後、薬指の神経が切れていることが判明した。	20	140201	8	50～ 99
2017	6	9～ 10	バックヤードにおいて、テープで梱包されたダンボール箱のテープ部分を、右手でハサミを持ち、ハサミを開いて刃の部分（刃面）を持って切った為、右手薬指にハサミの刃が当たり切創した。	47	80209	8	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	給食調理場で作業中、大量のピーマンを包丁でカット処理後、ピーマンを移動させようと両手でまな板ごと持ち上げたところ、思ったより重く片手が離れてしまい、まな板の上に置いていた包丁が滑り落ちて来て、右手薬指腹部分に直撃切創し、出血が止まらなかった。	65	170101	4	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	給食調理場で作業中、大量のピーマンを包丁でカット処理後、ピーマンを移動させようと両手でまな板ごと持ち上げたところ、思ったより重く片手が離れてしまい、まな板の上に置いていた包丁が滑り落ちて来て、右手薬指腹部分に直撃切創し、出血が止まらなかった。	65	170209	4	50～ 99
			普段から勤務している店舗において、夕方混雑してきた店内の状				

2017	6	17～ 18	況に少し焦りを感じてしまい、お客様の頭頂部の毛髪を切る際に、自身の左手中指第二関節上部およそ2cmを創傷して、皮膚がぶらつき出血が治まらなくなった。	29	80301	8	1～9
2017	6	8～9	特別養護老人ホームの厨房において、昼食の準備で玉葱の皮を剥いていて、包丁の刃が滑って左手の親指と人差し指の間を切り、出血がひどかった。	20	130201	8	50～ 99
2017	6	14～ 15	改築工事において木材加工時、手鋸により、左親指から人差し指にかけて長さ5cm、深さ1cmの切創を負うことにより、筋部まで負傷した。	63	30202	8	1～9
2017	6	10～ 11	作業場にて溶接の歪みを取る作業をしていた。自分で作成した治具を用いてハンマーで殴る途中、不安定で治具のセンターを打てず、手元が誤り左足膝の内側を殴ってしまった。	44	11301	3	1～9
2017	6	9～ 10	厨房内で仕込み中にネギを切っていた際、誤って左親指の第一から第二関節にかけて包丁で切ってしまった。	56	130101	8	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	店内の厨房において、包丁でレモンを切っていたところ、誤って左小指付け根の少し上の部分を切ってしまった。	46	140201	8	1～9
2017	6	14～ 15	工場内にて、ボビンに巻かれている組紐の残糸をカッターで切る際に、カッターの刃を進行させる方向にボビンを押さえる手があり、残糸上をカッターの刃が滑り、ボビンを押さえている左手の親指を切った。	31	10801	8	10～ 29
2017	6	20～ 21	店舗厨房にて、包丁をダスターで拭く時に、誤って包丁で左手人差し指を切ってしまった。	18	140201	8	50～ 99
2017	6	13～ 14	本社工場内で、本人が野菜の切り込み作業を始めようとして、新品の包丁（カバー付き、刃渡り約20cm）を左手の手の平にのせ、カバー部分を親指で押さえ、右手で包丁本体をカバーから抜いたところ、刃が左手人差し指の内側の第一関節と第二関節の間に当	70	10103	8	10～ 29

			たり、切傷となったものである。				
2017	6	12～ 13	エアコン取り替え工事現場にて、室外機の配管切り込みの際、右手に持ったカッターナイフで、誤って左手中指の内側を切り負傷した。	22	30302	8	1～9
2017	6	17～ 18	店内テニスコーナーにて、ストリングマシンでストリングスの張替作業中、ストリングスをしっかりと結ぶためペンチで挟んで引く際に、顔面方向に引いて、ストリングスを挟んでいたペンチが滑って外れ、ペンチの先端が右眼球に当たり、右眼球を打撲した。	38	80209	3	30～ 49
2017	6	14～ 15	木造住宅の外壁塗装の下準備のため、ボード目地のコーキングをカッターではぎ取っていたところ、勢い余って左の人差指を切ってしまった。その際、手袋はしておらず、2段目の足場（2m位の高さ）に乗って作業していた。	26	30209	8	10～ 29
2017	6	12～ 13	青果作業場にてカボチャの加工中、包丁を滑らせてしまい、左手を切ってしまった。出血が止まらず、傷も深かった。	59	80209	8	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	工場内で車検整備中、左足周りのキングピンにサビがあり、キングピンを固定しているクサビボルトを取り外そうとしていたら、ボルトが固着していたため、電動ドリルを使い、ボルトを削り取る作業中、ドリルの刃が噛み込み、その反動で電動ドリル自体が逆転してしまい、握っていた左手が回されて指が離れなかった。そのため、指が曲がったままだったので折れしまった。	49	11701	7	1～9
2017	6	9～ 10	養殖したシイタケをハサミで刈り取る作業をしていたところ、3ヶ月程前から右手首に痛みが出た。大事ではないと思い就業を続けたが、痛みが酷くなった。	34	10109	19	50～ 99
2017	6	9～ 10	養殖したシイタケをハサミで刈り取る作業をしていたところ、3ヶ月程前から右手首に痛みが出た。大事ではないと思い就業を続けたが、痛みが酷くなった。	34	170101	19	100 ～ 299

2017	6	9~ 10	工場内にて、ハイタッチ型枠締め作業中、ラジエットにパイプを入れ、締め作業をしていた。ラジエットの切替部分に不具合があり、空回りし、その反動により下に押し付けて指を怪我した。	57	10901	3	50~ 99
2017	6	8~9	被災者は、就労先にて、監視業務（船舶に乗り、工事現場海域へ侵入する船舶等がないか警戒・監視する業務）に従事していた。就労中被災者は、アンカーを交換するため、そこに結んであるロープを外そうとカッターで結束バンドを切ろうとしたところ、誤って右手小指を切ってしまった。	47	170201	8	100 ~ 299
2017	7	10~11	電線を固定している紐をナイフで切る時、勢いあまり目に当たり受傷した。	33	30301	8	10~ 29
2017	7	16~17	住宅リフォーム工事中に、和室入口の額縁を取り外す作業をしていて、他の壁を傷つけない様にバールではなく、ノミを使っていた。左手にノミを持ち、力を入れた時すべて右手の指にあたり、右手親指つけ根を裂傷した。	31	30202	8	1~9
2017	7	15~16	被災者はコミットロールの組み立て作業を行っていた。カッティングヘッドの取り付けでスパナでボルト締め付けを行っていた際に、スパナがボルトの頭から外れた拍子にスパナが手から外れ、右目に当たった。	56	10109	4	100 ~ 299
2017	7	15~16	当社作業場内にてパート従業員がチンゲン菜原料処理作業中、チンゲン菜の根をカットする作業内にて、左手にチンゲン菜を持ち右手に専用ナイフを握りカットしたところ、誤って左手人差し指を切ってしまい負傷した。直ぐに当社事務所に本人より報告を受け、作業手袋を外し傷口を水洗いし清潔なタオルにて止血処置を行い、治療を行った。	27	10109	8	10~ 29
2017	7	14~15	当日は、加工場内に於いて、たこの頭の加工処理（頭の中の内臓を除去する作業）を行っていたところ、誤って左手人差し指を裂傷し、止血処置を行った。	58	10102	8	50~ 99

2017	7	9~10	作業中アイロンの重しが足に落ちて骨折した。	64	10301	4	50~ 99
2017	7	15~16	野菜処理室で野菜をカットする作業中、作業台に置いてあった包丁が落下。それが手の平に触れ、包丁の先が刺さって負傷した。	68	10109	8	500 ~ 999
2017	7	12~13	幅約4m~5m、水深約30cmの川沿いで、樹高約4m・根元径（切口）8cm~10cmの雑木（柳）を伐採したところ、木が根元からしなっており、伐った拍子にチェーンソーのバーに木が乗り木の重さとしなっている反動で、根元付近についていた左足に向かってチェーンソーが押し戻され、チェーンが回っている状態で左足の甲から足首付近に接触してしまった。	43	130101	8	100 ~ 299
2017	7	10~11	青果作業室にて、かぼちゃを切るためにかぼちゃカッターを取ろうとしたところ、誤って刃の部分に手を置いてしまい、右手親指の爪部分に刃があたってしまい、爪の部分が切れてしまった。	41	80209	8	50~ 99
2017	7	13~14	工場内でレール割り作業（レールにガスバーナーで切れ目を入れて、大ハンマーで叩き割る作業）をしていたところ、大ハンマーがレールの端に当たり跳ね返ったレールが左足を直撃した。 （レールは約1mで安全靴の柔らかい部分を直撃した。）	58	11009	4	1~9
2017	7	10~11	ビニールで梱包されたダンプラシートを加工するために、開封の際にカッターの刃をダンプラシートの溝にしっかりと入れていなかったため、刃がずれてしまい、右手中指を切ってしまった。	32	10805	7	50~ 99
2017	7	10~11	ビニールで梱包されたダンプラシートを加工するために、開封の際にカッターの刃をダンプラシートの溝にしっかりと入れていなかったため、刃がずれてしまい、右手中指を切ってしまった。	32	170101	8	10~ 29
2017	7	15~16	豚のバックサポート工程（頭落し作業）において大貫豚（雄）をバックサポート台に乗せて右手のナイフで豚の頭を切り落とすため、ナイフを入れた時、頭を押えていた左手の位置が悪かったので、誤って刃先で左手首下部を刺してしまい切創、負傷した。	32	150105	8	100 ~ 299

2017	7	14~15	工場内鴨解体作業において右手に包丁を持ち流れて来る鴨の解体処理作業中、誤って包丁が左人差指の付根にあたってしまい切傷負傷したもの。	55	10101	8	10~ 29
2017	7	15~16	フロア張り作業中誤って自分の左人差し指を玄翁で叩いてしまった。翌日朝、痛みが増してきた。骨折により1週間の自宅療養。	23	30202	7	50~ 99
2017	7	9~10	給食調理のため、野菜を包丁で切っていたところ、勢い余って左手人差し指を負傷した。	37	130201	8	10~ 29
2017	7	9~10	厨房にて昼食の仕込み中、玉ねぎを約1cm幅でカットしていたところ、誤って押さえていた左手の小指の先を切ってしまった。水道水で洗い流しティッシュで止血していたが貧血のせいか体調が悪くなった。	49	170209	8	300 ~ 499
2017	7	13~14	店内で、チェックアウト業務中にレジ台からサッカー台へ移動しようとした時、右足をレジのカゴの中に入れてしまい、後ろに転倒して背中から倒れてしまい負傷する。	31	11203	8	30~ 49
2017	7	12~13	調理洗い場で洗浄中足が滑り転倒し、右頭部をシンク下の柱に右肘をU字構にぶつけ創傷。	28	80209	8	10~ 29
2017	7	6~7	仕込みの鶏肉を包丁で切っていた時鶏肉を押さえていた左手が滑り、誤って左手人差指の爪を1/3程切断してしまった。	23	140101	8	500 ~ 999
2017	7	10~11	洗い場でライチを切っている時に左手薬指を切ってしまった。	45	140201	8	—
2017	7	9~10	弊社製造フロアにて野菜カット作業中野菜が滑って包丁で切ってしまった。	52	80209	8	50~ 99
2017	7	16~17	店舗厨房にて、包丁をダスターで拭いていたときに誤って右手薬指を切ってしまった。	20	140201	8	100 ~ 299
2017	7	15~16	夏季輸送前総点検中、(上)側副1活性に絡まっていたつる草を手鎌で除草中、同じ作業をしていた作業員の手鎌先端部が右手人差	35	40101	8	100 ~

			指に当たり受傷した。				299
2017	7	10~11	厨房でニンジンの拍子切りをしていたとき誤ってニンジンを抑えていた左手中指を包丁で切ってしまった。第一関節まで長さ1cmくらいであったが出血が止まらなかった。	48	80209	8	50~ 99
2017	7	10~11	2階店舗内青果部作業場において商品（カボチャスライス）作成時にカボチャカッターを使用中かぼちゃを押さえている手が滑り左手人差し指を創傷した。	31	80209	8	100 ~ 299
2017	7	8~9	職場の調理場で野菜の加工作業時に包丁が滑り左手親指を負傷した。（1/4カットのかぼちゃの断面を切り落とそうとしたところ、包丁が横に滑ってしまい、かぼちゃを押さえていた左手親指を切ってしまった。）	19	80209	8	50~ 99
2017	7	11~12	公園の除草作業をしている時硬い草をノコギリ鎌で切っていたその時草をつかんでいた左手親指に刃が当たり負傷した。	76	150109	8	50~ 99
2017	7	13~14	カッターでホースを切断しようとしたところ誤って膝を負傷した。	32	11209	8	1~9
2017	7	7~8	作業にとりかかり麺帯を運んでいる時、背後のドアを開けられて背中を押される格好になり、体が動いた際、麺帯を巻いた軸を握った手（左）がカベとの間挟まれて圧力で手のひらを創傷してしまった。	67	10109	7	100 ~ 299
2017	7	10~11	惣菜作業場にて、包丁を使用してカツを切っていた時、不注意により誤って左手人差し指を切ってしまった。	22	80209	8	100 ~ 299
2017	7	13~14	たきび用のまきを割る作業中になたで指を切創した。	28	140302	8	1~9
2017	7	8~9	山林内にて、山林調査中、なたで雑木を切ったところ、勢いあまり、そのまま右膝になたがあたり切創した。	44	60209	8	10~ 29
			出勤後、翌日出荷分の野菜加工の際、作業台上のまな板の上に白菜1玉横向きに置き左手で白菜を押さえ白菜の芯の部分を包丁で切				100

2017	7	10~11	り落とし芯を拾いゴミ箱に入れようとした際、右手に持っていた包丁が左手薬指に当たり負傷。当日・翌日は自宅にて絆創膏を貼り様子をみたが、切り口がふさがらなかった。	53	80209	8	~ 299
2017	7	19~20	粉碎工程の作業中、原材料の入った麻袋を積むため、両端をカギ爪でひっかけ持ち上げたところ麻袋から突き出ていたカギ爪で、右足の内側のももを傷付けた。	27	170101	8	300 ~ 499
2017	7	10~11	畜産バックルームで、ミンチ用肉の加工作業中に包丁で切った。左手人差し指先、5針縫った。（作業中によそ事を考えていて、注意が散漫だった。）	61	80209	8	50~ 99
2017	7	10~11	派遣先にて、製品の組立作業に従事中、工業機械部品のボルト（直径2.5cm）を締めつける工程で、万力部品を固定し、ボルトの右からスパナ（長さ約34cm）を掛けて両手で体重をかけながら手前に引いて締めていた時、ボルトからスパナが外れ、そのまま後方に転倒した。転倒の際、後方の作業台で首、背中などを強く打って受傷したもの。	41	170101	3	100 ~ 299
2017	7	10~11	電子工場で、製品の組立作業に従事中、工業機械部品のボルトを締めつける工程で、万力部品を固定し、ボルトの右からスパナを掛けて両手で体重をかけながら手前に引いて締めていた時、ボルトからスパナが外れ、そのまま後方に転倒した。転倒の際、後方の作業台で首、背中などを強く打って受傷した。	41	11301	3	50~ 99
2017	7	10~11	成形型の固定型と可動型を離すため両方を凍結している金具（引っ張りリンク）のボルトを六角レンチにパイプを取り付けて緩めようとした時、左手が滑り型の一部（型取り付け板）に手をぶつけた。	65	11709	3	100 ~ 299
2017	7	13~14	作業場で、固着していた自動車部品をハンマーで打ち抜く作業をしていた時に、打ち抜き用治具に添えていた左手の人差し指を誤って殴打してしまったもの。	35	80409	6	10~ 29
			成形2号機にてバリ取り作業中、カッターの刃が製品に引っかかっ				10~

2017	7	10~11	てしまいその刃を外そうとした際に、刃が指に当たり負傷した。	42	170101	8	29
2017	7	10~11	センターシール機作業中、スリット原反に異常があり、手動で貼り合わせ作業を行った。その後、ハサミで紙管に残っているフィルムを切断した際添えていた左手指を一緒に切ってしまった。	26	10701	8	300 ~ 499
2017	7	10~11	電柱置場に於いて、電柱をおろす作業をする際ユニックにワイヤロープをかけておろすため、外側の電柱をバールを使用して、すき間を空けようとした。歯止めを施し、バールを抜いた時電柱が転がり、右手甲に乗り負傷した。	52	40301	7	10~ 29
2017	7	13~14	道路改良工事現場においてU字構設置作業中。U字構の高さを調整するのに、労働者Aと各々U字構の上にサンギを置き、それを叩いて作業をしていたが、労働者AのサンギがU字構の上から、転がりそうになったので、止めようと手を出してしまい、左手中指、薬指を叩かれ負傷する。	44	30106	7	1~9
2017	7	11~12	構内にて、4tトラック（ウイング車）を停車し、荷降ろしのため同トラックより降りる際、慌てて飛び降りたため、誤って右足小指を骨折負傷した。	28	10103	8	100 ~ 299
2017	7	13~14	事業所内にて重機のアタッチメントの取り替え作業中、ピンをハンマーで打って抜く際に右手小指を打った。	36	40309	3	1~9
2017	7	15~16	倉庫で車から荷降ろし作業をしていたところ、棚から工具が左足の上に落ちた。	29	30209	4	10~ 29
2017	7	16~17	現場（運動場）内で外周側溝（PC）敷設のため、据付高のちょう張り作業を行っていた。木製杭打ち込みの前段で鉄製ピンを石頭ハンマーで仮打ちした後、引き抜く際にピンが抜けにくかったため、ピンを横から叩いた際ピンの一部が欠けて飛散し、被災者の左目を直撃した。	54	30199	6	1~9
2017	7	10~11	厨房において、じゃがいもを包丁にてカット中、左手小指と接触	63	170101	8	1000 ~

			し、切傷。					9999
2017	7	18~19	バックヤードでまな板を洗っていた時、まな板を落として足の甲を打撲した。	16	80201	4		100 ~ 299
2017	7	9~10	調理室のシンク台で包丁を洗っていた時、石鹼の泡で滑り包丁の刃の部分が回転して、左手小指に当たった。その際に切創ができてしまった。	60	120109	8		10~ 29
2017	7	20~21	派遣先のホテル内調理場にて、包丁で食品の袋を開封しようとした所、手が滑り包丁が掌に刺さり裂傷してしまった。	24	140101	8		300 ~ 499
2017	7	17~18	弊社倉庫で工事現場から帰社して道具を片付けている時刃のついたスクレバーが棚上から落下し、被災者の右足甲に突き刺さり、負傷した。	35	30309	4		1~9
2017	7	8~9	被災者は社内でスタンプハンマーを操作し、素材を掴む道具「はし」を使用して型打作業を行っていた。「はし」を開閉しやすくするために、人差指を「はし」の柄に軽く引っ掛けて持ち、作業をしていたが、指が滑って、2本の柄の間に入ってしまった。そのタイミングで素材と一緒に、誤って「はし」の先端を同時に金型で打撃してしまい、指を挟んで負傷した。	40	11209	7		30~ 49
2017	7	11~12	地籍調査で境界杭打ち作業中に杭を持っていた左手第2指（人差指）を誤って金づちで打ったもの。	67	170209	4		30~ 49
2017	7	10~11	新築工事の棟上げ準備中に、棟上げの木を組んでいる際、定位置に納まったと思った木が浮き、危ないと思った被災労働者が手で補助したところを、他作業員の打った掛矢が右手にあたり、損傷。	26	30202	6		—
			キッチンにて、ミートナイフでサザエの蓋を取る下処理をしていた際に発生。左手でサザエを握り、サザエの蓋が硬くて取れな					10~

2017	7	11~12	かったため、右手で持ったナイフが滑ってしまい、ナイフで小指を切った。	48	140309	8	29
2017	7	13~14	下処理室で翌日に使うかぼちゃを切っている時、包丁で指を切った。	52	130101	8	100 ~ 299
2017	7	16~17	碎石場の2次の作業場でベルトコンベヤのこぼれ止め（スカートゴム）加工のため右手にカッターナイフを持って縦37cm×横145cmのゴムの真ん中に縦3cm×横12cmの穴を開ける作業中に手を滑らせて左手首切創・動脈損傷した。	52	20201	8	10~ 29
2017	7	13~14	サント室にて包丁を研ぎ、試し切りをするため左手にのせたパンで実施したところ誤って左手小指と薬指の付け根を切創した。その後傷は治ったが指が曲がらなくなったため指の腱を手術した。	56	80209	8	10~ 29
2017	7	10~11	素材課において鑄造機に段替えで交換した金型に不具合を発見したため、すぐに金型整備場に戻し、金型を分解しようと作業を開始した。天板と1枚目の中板をはずしワイヤで吊った状態で2枚目の中板をはずそうとハンマーでたたいてもはずれないため、下からたたいていたところ、突然中板がはずれ右手の甲に落下し負傷した。	56	10502	4	50~ 99
2017	7	9~10	工場の現場において、低圧停電準備作業のため、高所作業車で建替柱の既設低圧CVケーブルの縛り紐の切断作業を行っていた。縛り紐の結び目を左で引っ張り、ナイフを押しながら切断していたが切れにくかったためナイフの刃先が手前側に向けて引きながら切っていたところ、縛り紐が切れ、弾みで刃先が左眼に当たり受傷した。	33	30301	8	1~9
2017	7	12~13	被災者は、蔵替え作業（製品の移し替え）のため、製品をパレットごとトラックに積み込んでいた。パレット（製品込）1枚の重量が約600kgあるため、手駒を使用し引っ張って積み込み作業	53	50101	2	100 ~

2017	7	17~18	半解凍されたブロック鮭の切り分け作業中の事故。ブロック鮭の奥側に手を添えて鮭が動かないような体勢をとった。柳包丁（刃渡り30cm）でブロック鮭を切り分けようとした時、鮭の脂で柳包丁が滑り、刃先が左手の掌に刺さった。手の感覚が無くなり、出血も止まらなかった。	57	140101	8	300 ~ 499
2017	7	8~9	厨房内にて昼食の準備で小松菜を切っている際に、誤って刃渡り15cmぐらいの包丁で左人差し指の第2関節と付け根の間を腱まで深く切った。出血が酷かったが、止血をし手袋をつけて作業を続けた。	24	130101	8	100 ~ 299
2017	7	14~15	キッチン担当として仕込みの作業中、ハム袋を包丁で開封する際、左手でハム袋を持ち、その左手人差し指に包丁が刺さり負傷した。	37	140201	8	30~ 49
2017	7	11~12	ステーキ室にてステーキ原料肉の下処理作業時に、筋部分に包丁が引っかかり、無理に切断しようと力を入れたところ、包丁の先にあつた左手の甲を切り受傷した。	39	10109	8	10~ 29
2017	7	11~12	傾斜地の山腹において、仮設モノレールの架台の支柱を撤去作業中、人力にて支柱が緩んで外れないため、ハンマー（1.3kg）を使用して、架台のビームを地面側より逆さまに打ち外す作業を行っていた。ハンマー使用者は被災者に対しビームをハンマーで打って外すので、手を入れたり支えなくても良い事を事前に伝えていなかったために、被災者は、急にビームを両手で支えたため左手薬指にハンマーがあたり、薬指が粉碎骨折。	19	30199	6	1~9
2017	7	9~10	てん菜畑で草取り中、草を鎌で刈ろうとして誤って左手甲を切った。	38	60101	8	1~9
2017	7	10~11	厨房内仕込場で手動のスライサーでキャベツスライスしている時、誤ってスライサーの刃に指が当たり右手親指先端を切創した。	44	140201	8	30~ 49
			厨房内において、包丁でまな板に置いた万能ねぎ2束を切る作業を				

2017	7	10～ 11	していたところ、誤って包丁で左手中指の第一関節付近を切断した。	57	140201	8	1～9
2017	7	16～ 17	調理作業中に切っている時親指を切っしまい、左第一指を裂傷した。	57	140101	8	50～ 99
2017	7	10～ 11	調理場にて食材の仕込み中、食材をカットした時落下しそうになった包丁を右手で取ろうとし包丁の刃の部分が手のひらにあたり、とっさに右手を引き裂傷した。	40	140209	8	10～ 29
2017	7	15～ 16	青果作業場内カット室においてスイカを急いでカットしていた為、スライスをする過程で包丁の刃先か降りる位置に指を置っしまい指を切っしまった。	54	80209	8	50～ 99
2017	7	14～ 15	工場内において、コンクリート製品を型枠から外す作業中、製品と型枠の間に鉄の棒（長さ73.3cm、直径3cm）を差し込み、押し上げた時に手が滑り、鉄の棒で下顎を強打し負傷した。	58	10901	6	10～ 29
2017	7	15～ 16	小学校南側の市道（小学校放課後児童クラス外構工事）において、水道管取り出し工事中、掘削作業（深さ1.5m×幅1.0m）で手元作業をしていた被災者が、手をついて掘削床に降りた際、床に立て掛けてあった鋤簾（じょれん）に気付かず降りたため、柄先が股間に当り受傷した。	19	30199	3	1～9
2017	7	9～ 10	当社請負先である工場の製造1課整形ラインにて、肉の骨やスジをミートナイフを用いて取る作業中、勢いが余って自分の左手人差し指の先端を1cmほど切っしまった。（ミートナイフは、肉を処理する専門のもので、刃渡り270mm、家庭用の包丁を丈夫にしたようなものである。）	60	10101	8	10～ 29
2017	7	9～ 10	工場内仕上げ場にて鑄造作業中、型枠より製品を取り出すために型ばらしを行っていた。その際、ハンマーで型枠を叩いて分離させるところ、誤って型枠でなく、自分の左手を叩いてしまい、骨折した。	20	11002	7	1～9

2017	7	13～ 14	木製品加工後、バリが出ていたため、簡単に取れると思い、軍手 をはずしてカッターで除去しようとしたが、思ったより硬く、も う一度力を入れて除去しようとしたところ、カッターの刃が滑っ てしまい、その勢いのまま左手の平を切ってしまった。	43	10602	8	50～ 99
2017	7	15～ 16	基礎工事作業中、型枠を組み、コンクリート打設後に、雨対策の ためビニールで型枠の上を養生（上にかぶせる）を2人でしていた とき、被災者はビニールを押さえていた。相手がカッターでビ ニールを切るときにタイミングが合わず、指に当たり負傷した。	34	30202	8	1～9
2017	7	7～8	キャベツの千切り時、スライサーにて指を削り落とした。団体客 用に3玉分のスライスをしているとき、3分の2程度が終わったとき に負傷（出血量多）したものである。	54	140101	8	10～ 29
2017	7	14～ 15	2階ベランダ笠木を施工している際、ベランダ方立と笠木を釘打ち 機にて留め付けを行おうとしたときに、部材持ち手である左手親 指を誤射した。	25	30201	4	1～9
2017	7	9～ 10	補充作業場にて、肩より高い位置にある商品を、PPバンドを持っ て下ろそうとしたが掴み損ねてしまい、右手に持っていた刃を出 した状態のカッターで勢い余って左腕を切ってしまった。	50	40301	8	500 ～ 999
2017	7	19～ 20	倉庫内片付け中、足に工具を倒して怪我をした。（骨折）	38	30202	6	10～ 29
2017	7	12～ 13	ビルトインコンロを交換するため、コンロ下部にあるプレートを 外す作業をする際、無理な体勢でドライバーを回したため右手首 を痛めた。病院に行ったところ、捻挫と診断され、出勤（軽作 業）しながら治療するのを待ったが、痛みが治まらず、再度病院 を変えて診察してもらったところ、骨折（ヒビ）しているとのこ とだったので、会社を休み療養することになった。	53	30309	19	10～ 29
2017	7	10～ 11	当社にて、カッターでひもを切ろうとした際に、勢い余って右の 太ももを切ってしまい負傷した。	28	10401	8	1～9

2017	7	9～ 10	店舗内売り場の青果特設コーナーにおいて、カッターナイフで玉ねぎの箱を開けようとした際に、注意不足でカッターナイフの刃が左手に当り、親指に1cm、人差指に0.7cmの切創を負った。	27	80209	8	100 ～ 299
2017	7	4～5	敷地内において、トラックの荷台の荷物をかぎ棒で引いて降ろし、フォークリフトに積み替える作業中、自身の不注意により、かぎ棒が外れ、その反動で後ろ向きで倒れた。その際、停車していたフォークリフトのツメの部分に腰部を強打した。	67	40301	2	1～9
2017	7	13～ 14	厨房にて調理作業中、20cm程のキャベツを牛刀でカット作業している際に、誤って左手薬指をカットした。	20	130301	8	50～ 99
2017	7	12～ 13	青果作業でカボチャカット作成時に、カボチャカッターをセットしてカット作業を実施する予定が、セットし忘れによりカッターが落ちてしまい、右手人差し指を切ってしまった。	58	80209	8	100 ～ 299
2017	7	14～ 15	厨房で調理中に、熱したフライパンに少量の油を入れて、上部の棚に置き、フライパンを入れ替えたときに、右手の甲に油がかかって火傷した。	61	140201	11	10～ 29
2017	7	8～9	鮮業作業場で冷凍マグロを切る際、原料が凍っていたために包丁が滑り、原料を押さえていた左手第4指の先を削ってしまった。	56	80209	8	100 ～ 299
2017	7	21～ 22	包丁の刃を手前に向けて砥石で研いでいたところ、勢い余って砥石からはみ出してしまい、その反動で左手の人差し指と親指を刃先で切ってしまった。	31	140101	8	500 ～ 999
2017	7	9～ 10	バームクーヘンを裁断後、次の作業として刃を移動しようと押さえていたところ、刃が手に当たり負傷した。	47	10104	8	50～ 99
2017	7	14～ 15	自社整備工場内で、車両下部分で仰向け状態で作業中、ネジを回そうと力強く引いたときに工具が外れ、左目を強打した。	51	40301	3	50～ 99
2017	7	10～ 11	店舗畜産厨房にて、包丁を棒やすりで研いでいたとき、棒やすりを持っていた左手に刃が触れ、手首を切り負傷した。やすりに当	36	80209	8	100 ～

2017	7	14～ 15	作業場で包丁を研いでいたときに手が滑り、包丁で左手薬指を切ってしまった。	18	80201	8	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	学校給食センター調理室において、包丁でジャガイモの芽取りをしていたとき、左親指の先を深く切った。自力歩行で手洗室へ行き、椅子に座って止血等の応急処置を受けている最中に一瞬意識を失い、1分程度の硬直性痙攣症状となったため、救急車を呼び医療機関へ救急搬送された。	49	10109	8	10～ 29
2017	7	7～8	冷蔵倉庫作業場にて、包丁で水菜を裁断しているときに、水菜を押さえていた右手親指を包丁で切ってしまった。	19	80109	8	50～ 99
2017	7	15～ 16	改修工事の施工中、ワイヤーに寄りが入ったため、それを取り除こうと、やぐらの上（地上11m程上）でパイプレンチを使用して寄りを戻していたとき、パイプレンチが手から離れ、落下させてしまった。危険を知らせようと声をかけたときに、下にいた作業員が顔をあげて上げてしまい、パイプレンチが額に当たり怪我をした。下にいた作業員はヘルメットを着帽していたため、頭部（頭頂部）の損傷は免れた。	34	30199	4	1～9
2017	7	9～ 10	レストランのキッチンにて、マグロはらみの薄皮を落しているとき、フィンガーガードの着用を怠ったため、脂で包丁が滑り、左手親指に切傷を負った。	59	140201	8	30～ 49
2017	7	10～ 11	厨房にて、にんじんの下処理中、落下した包丁を拾う際に、誤って刃をつかみ負傷した。	54	80209	8	1～9
2017	7	10～ 11	デリカ作業場にて、揚げたチキン南蛮をカット中、包丁が滑り、左人差し指第二関節の辺りを切ってしまった。	51	80209	8	1～9
2017	7	10～ 11	店舗内調理場において、ピーラーで大根の皮を剥いていたとき、誤って左手人差し指を切傷した。	39	140201	8	30～ 49
		16～	支店倉庫内にて、金槌を使用して木製パレット解体作業中、右手				

2017	7	17	に持った金槌を誤って手から滑らせ、右足小指に落とし受傷した。	36	10409	4	1～9
2017	7	15～ 16	同社工場内において、エレベーター部品の材料である鉄板1枚（長さ1150mm、幅661mm、厚さ1.2mm）のバリ取り加工作業中、専用工具の切削刃が材料から外れて抵抗がなくなり、工具が滑った瞬間、左手で押さえていた材料がずれ、土台としていた材料（加工前）の側面に右手拇指が当たり、根元を切創した。	33	11203	8	30～ 49
2017	7	16～ 17	店舗厨房にて、スポンジで包丁を洗うとき、誤って左手中指を切ってしまった。	17	140201	8	100 ～ 299
2017	7	14～ 15	倉庫に道具類の整理のため、車から工具などを降ろしながら片付けていたとき、移動しようとしたブレイカー（解体工具）を、誤って左足の小指の上に落とした。最初は痛かったが、大丈夫だろうと判断し帰宅したものの、痛みが酷くなった。	37	30209	4	10～ 29
2017	7	11～ 12	2階製造部作業場にて、ウレタン加工時に右手にドリル、左手でウレタンを押さえて作業していた。通常作業ではなくイレギュラーな作業だったこともあり、特に安全装置などがなく、電動ドリルを誤って左手小指に干渉させてしまった。	51	11301	7	30～ 49
2017	7	9～ 10	会社工場で、鶏肉の手羽を切り落とす作業をしていたときに、誤って、右手に持っていた出刃包丁で、左手親指の付け根部分を刺した。	51	10101	8	30～ 49
2017	7	8～9	作業台で作業をしているとき、カッターの刃の交換時になかなか入らなかったため、力を入れ過ぎて滑り、誤って左小指の第1関節の箇所を切った。	41	11709	8	10～ 29
2017	7	21～ 22	作業場にて、刺身包丁を左手に持ち包丁庫にしまうとき、手を滑らせて包丁が落下した。その際、右手を包丁庫の下に置いていたため、右手に包丁が当たり、右手人差指付け根を切った。	18	80201	8	500 ～ 999

2017	7	16～ 17	店舗仕込み場において、包丁を使用してネギの調理作業中、誤って左手親指を包丁で刺してしまい受傷した。	34	140201	8	30～ 49
2017	7	13～ 14	勤務先工場内にて、バーチカル加工機で加工作業を行うためにワークをセットする作業中に、ワークをバイスにセットするための位置調整にプラスチックハンマーを使用していたが、誤ってワークを保持していた自身の左手を打撃してしまい、左手中指を負傷した。	44	11301	90	10～ 29
2017	7	12～ 13	ハウスクリーニングに従事しているとき、マンションの退去後の空室において、キッチンを清掃している際に、ガスコンロについているゴトクをカミソリ刃のついた用具（通称ガラスケレン）で焦げカスを削り取るときに手を滑らせ、左手人差し指の第2関節の内側を深く切ってしまった。	39	150101	8	1～9
2017	7	13～ 14	屋根工事現場にて、下地修理の工程で垂木に添える木材を道具を使って加工中、手を滑らせて刃先が右手甲に当たり、切り込んで負傷した。すぐに病院へ行き処置し、右手伸筋腱断裂と診断された。	32	30202	8	1～9
2017	7	8～9	労働者派遣先にて、糸管に巻かれている余分な糸を専用カマで切断する作業を行っていたとき、糸管にカマが引っ掛かり、力づくでカマを引き抜こうとしたところ、勢い余って添えていた左掌に刃部が接触し負傷した。	19	170101	8	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	剪定作業中、軽トラックの荷台横で枯れた植木を細かく切断していたとき、誤って剪定バサミで左手小指を切った。	47	60101	8	1～9
2017	7	16～ 17	住宅解体現場で、コンクリート製布基礎の解体作業を人力で行っていた。大ハンマーを振り下ろした際、勢いのあまりバランスを崩し、ハンマーを握っている左手人差し指第1関節上部を、布基礎立ち上がり角に誤って打ちつけ負傷した。	75	30202	3	1～9
2017	7	13～	路肩改良工事の型枠作成にあたり、被災者が丸鋸で型枠部材を切断中、片手で電動ディール線を引き寄せたため不安定になり、跳	32	30106	8	1～9

		14	ね返りを防ぐことができず、誤って右大腿部を負傷した。					
2017	7	10～ 11	作業場にて、借家改修工事の屋根材の下地に使うフェルトをカッターで切る作業をしていたとき、左手で定規を押さえていたが、力が入りすぎたためか左手が定規からずれ、カッターの刃が左手親指付近に接触し裂傷を負った。	24	30202	8	1～9	
2017	7	10～ 11	店内において、昼の仕込のため野菜を切っているときに、誤って左手人差し指を包丁で切り怪我をした。	25	140201	8	10～ 29	
2017	7	17～ 18	厨房で牛肉のスジを包丁でカット作業中に、誤って左手小指に包丁が刺さった。	51	140101	8	300 ～ 499	
2017	7	15～ 16	外構工事にて、鎌で庭木の伐採作業をしていたところ、誤って鎌が左手人差し指に当たり負傷した。	21	30202	8	1～9	
2017	7	10～ 11	客宅に小型合併浄化槽を埋設するにあたり、庭木を撤去をするために伐採していたところ、誤って手が滑り、左足太ももから膝にかけての間を手鋸で切傷した。	20	30199	8	1～9	
2017	7	11～ 12	レストランの厨房にて、スライサーでレンコンをスライスする作業中、レンコンが手から滑り落ち、右手親指の先がスライサーに引っ掛かり、被災した。	64	140302	8	50～ 99	
2017	7	13～ 14	カーゴをトラックに積載する際に、カーゴタイヤが歪んでいることに気づき、ナットを締める作業を実施した。その際、体を捻じった体勢で作業を行ったので、作業後に違和感を感じるようになり、体調が改善されないため、病院にて診察を受けたものである。	43	80401	19	10～ 29	
2017	7	13～ 14	山林にてナタで竹の枝払い作業中、左手で竹を持って枝払いをしていたため、枝を落とした際に勢い余って指を負傷した。	64	60201	8	1～9	
2017	7	9～	中学校の調理室にて、スライサー洗浄時に刃に詰まった野菜屑を取り除くとき、誤ってスライサーの刃に左手親指が触れてしま	60	80209	8	500 ～	

		10	い、親指の爪を裂傷した。					999
2017	7	11～ 12	調理場にて、スライサーでキャベツをスライスしていたとき、右手の小指を誤って切った。	69	140201	8		10～ 29
2017	7	9～ 10	水中の田んぼで、レンコン掘りをビニール手袋をつけて作業中、レンコン茎・根元を鎌で切るために、常時右手中指付近で持って作業している。レンコンを切るときに鎌の刃が誤って当たり、右手中指に傷がつき、田んぼの泥水等からばい菌が入り、化膿したと思われる。その後、痛くて我慢できなくなり、病院に直行した。	66	60101	8		10～ 29
2017	7	15～ 16	本社建設機械整備場で、被災者が整備場奥の休憩室で午後の休憩をとっていたとき、同僚の整備士が急ぎの仕事で入った削岩機のビットをハンマーで叩き外して、その際、削岩機の金属片がたまたま近くで休憩していた被災者の左目に当たり、災害が発生した。	66	80409	4		10～ 29
2017	7	11～ 12	工場内で脚立に乗って機械の組立作業中、工具で締め付けを行っていたとき、工具が破損し、その反動で後ろに転落した。	37	11301	1		10～ 29
2017	7	11～ 12	店舗内キッチンにて作業中、仕込み台の前でオープン時の作業の仕込みのため、ネギを包丁でカットしていたとき、不注意で人差し指を受傷した。	22	140201	8		30～ 49
2017	7	11～ 12	調理場で野菜を切っていたとき、包丁で右手人差し指を負傷した。傷口が深く、出血が止まらないため病院を受診し、6針縫合した。	48	130101	8		30～ 49
2017	7	8～9	三日月カッター（刃物）で開腹作業中、誤って左手親指の付け根を切り損傷した。	25	10101	8		100 ～ 299
		10～	現場内において、測量用杭（タルキ）打ち作業中、被災者が杭を押さえ、同僚が掛矢で杭を打っていた処、誤って押さえていた杭					

2017	9	11	の天端に右手を置いてしまい、同僚が振り下ろした掛矢が右手指示付近に当たり、負傷したものである。	59	30309	7	1～9
2017	9	9～ 10	工場内で解凍したまぐろ原料を包丁でトリミング中に、手を滑らせて左手中指を切ってしまい、3針縫う怪我を負った。	43	10102	8	10～ 29
2017	9	8～9	給食室内において、野菜の下処理作業中にペティナイフで玉葱の皮むきをしていたところ、誤って包丁が滑り左手のひらに刺さった。	28	10109	8	30～ 49
2017	9	12～ 13	作業場で、トングをスポンジで洗おうとした際、急いで作業をして手が滑り右手親指第一関節を切った。	35	80209	8	50～ 99
2017	9	8～9	青果作業室内において、商品加工の準備で右手にまな板、左手に包丁を持ち作業台に同時に置いた際に右手の人差し指に当たったため、切創したもの。	58	80209	8	50～ 99
2017	9	10～ 11	利用者様居室において掃除中、洗面所で果物ナイフを洗っている際、汚れがこびりついていたため力を入れて取ろうとした時に誤って人差し指を切ってしまったことによる。	48	130201	8	1～9
2017	9	15～ 16	調味粉（プレミックス）を使うための準備として、袋を結束していた結束バンド（幅5mm厚さ1mmくらい）を右手で押さえて、左手ではさみを持ち切ろうとしたところ、切れにくく、力を入れて切ったところ、結束バンドが切れた拍子にそのままそのはさみで、抑えていた右手親指の末節部（先端指紋側）を約1cm×1.5cmの範囲で、はさみで削ぎ裂傷となりました。（本人は左利き）	25	10109	8	50～ 99
2017	9	13～ 14	市内の道路上において、植栽復旧工事の丸太支柱打ち込み際、大型木づちが振り下ろされたときに丸太を支えていた作業員が杭の上に手を挙げてしまい、木づちに右手をたたかれた。	77	30199	7	1～9
2017	9	15～ 16	事業場内の木材製品置場で仕入製品の開梱作業中、結束している鉄バンドをバールで切っている時、鉄バンド及び太い鉄バンドの結束が減多に無い為、扱いに慣れておらず、切れた鉄バンドが弾	42	10409	8	30～ 49

			け飛び左腕に当たり切れて出血した。				
2017	9	16～ 17	ラック通路でしゃがんで作業していたところ、後ろを通った別労働者のズボンポケットに入っていた金属製ヘラに被災者が接触し、裂傷した。	22	40303	8	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	派遣先にて就業中、パートの人と作業中、パートの人がしゃがんで、タバコをピッキングする作業をしている後ろを通った際に、パートの人の後ろポケットに、作業で使用するヘラが入っており、そのヘラが足にあたり怪我をした。すぐに病院を受診し、5針ほど縫合した。	22	170101	3	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	コース内、OUT5番ホールにて、台風通過時の倒木の伐採作業をして、鉄やチェーンソーを使用している時に、手首に痛みが生じた為、翌日通院した。	70	140301	19	30～ 49
2017	9	15～ 16	店内惣菜作業場で、商品のチキンボン酢竜田弁当の準備の為使用したまな板と包丁を片付けようと洗い場に移動中、洗い場の食洗機に左腕をぶつけ、その拍子に包丁が滑り落ち包丁の刃が左示指に触れ負傷したものである。	62	80209	4	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	汚染区域下処理の流し台のシンクにまな板をのせて包丁でレタスを切っていた時、まな板の設置が不安定でシンクに落ちてしまい、その際に包丁で指を深く切ってしまった。	21	130201	7	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	店内農産作業場で、かぼちゃカッターで商品のかぼちゃを切っている時、カッター台の溝に詰まったかぼちゃを取り除こうとした所、右中指、環指がカッターの刃に触れ負傷したものである。	61	80209	8	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	バックヤードでもつ鍋を作る作業中にもつの袋を開封する時、慌てていた為包丁で左手人差し指を切ってしまった。	49	140201	8	30～ 49
2017	9	16～ 17	当社倉庫内に於いて、トラックの荷台より道具の荷卸し作業中、ジャッキを台車に置こうとした際、手が滑りジャッキが左足甲に落下し、左足甲を骨折負傷した。	23	40301	4	30～ 49

2017	9	10～ 11	鮮魚作業場内にて刺身調理作業中、切っていたカツオタタキが硬かった為包丁が滑り、持っていた右手中指を切創した。その時傷口を見ると、削いだ様な傷口と出血があったことのショックで仰向けに倒れてしまい、頭部を床に打ち後頭部より出血し、頸椎を捻挫した。	29	80209	8	50～ 99
2017	9	9～ 10	事業所内倉庫に於いて、現場から出た廃材の片付け作業中。カッターナイフを使用していたところ手元を誤り左手人差し指を負傷したものである。	60	30203	8	1～9
2017	9	10～ 11	被災者は、解体工事現場で、解体工事のための杭打ち作業を行っていたとき、杭を打ち込むためのハンマーを振り下ろした際に打ち損じてしまい、ハンマーの柄を握っていた右手の人差し指を杭の頭で挟んでしまい負傷した。	24	30309	7	10～ 29
2017	9	8～9	クラブハウス周辺の草刈り作業を行っていた際に、草が思ったように切れず、刃が手元に滑ってきてしまい、左手人差し指の根元を創傷したものである。	68	140301	8	1～9
2017	9	14～ 15	被災者は超低温フリーザーの搬入設置作業中にしゃがんだ状態で作業していた時、その状態から立ち上がる際ズボンの右ポケットに入れていたカッターで誤って右腕を切ってしまう、負傷した。 (尚、カッターの刃は2cm出ている、ズボンのポケットから外に貫通していた。ただし、当人はカッターの刃が出ている事に気付いていなかった。)	34	40301	8	50～ 99
2017	9	9～ 10	給食室にて人参を切菜中、包丁がすべってしまい左手薬指先をえぐるように切ってしまった。	34	10109	8	300 ～ 499
2017	9	15～ 16	商品の補充、荷物の運搬、カッター使用の作業で、右手首に過度な負荷がかかってしまい、右手首に痛みが発生した。	24	80209	19	50～ 99
		13～	店内5階後方エレベーター前にて、パレティナの破損（はみ出し部分）が危険なため、スパナにて曲げたところ、右手首を受傷し				100

2017	9	14	た。怪我をした当初は痛みはなく、翌日に痛み出し1日様子をみたため、後日の病院受診となった。	63	80201	19	～ 299
2017	9	13～ 14	樹木の手入れ作業中、約2m位の高さでカイズカイクキをトリマーを使用して刈り込み中に足場の梯子がずれてしまい、トリマーを両手から離してしまった。近くにいた作業員に当たると思い思わず左手で掴んでしまい、小指から手の平、親指の腹までを裂傷したものである。	37	30199	8	30～ 49
2017	9	8～9	立木伐採工事にて、左ききの為左手で手のこを持ち、右手に持った枝を切っている時、誤って右手親指つけ根に手のこがあたり負傷した。	59	30202	8	1～9
2017	9	14～ 15	新築工事現場にて、2階梁に金具を取り付け、ハシゴを下りてきたところ高圧の釘打ち機が土台の上に置いてあり、釘打ち機の先端部分（釘の出る部分）に足が触れ釘が発射されて右足に刺さり負傷した。	69	30202	4	1～9
2017	9	19～ 20	レストラン店舗内、キッチンにて、まぐろのはらみの柵取りの際、フィンガーガードの着用を怠った為、包丁が滑った際、左手人差し指に切傷を負った。	62	140209	8	30～ 49
2017	9	17～ 18	工場内にある手動切断機を使ってシート状の材料を切断する作業を任されていた。材料が硬いこともあり、力の加減が難しい上、不慣れなこともあり、腕に必要以上の力をかけてしまったと思われる。作業を続けているうちに腕に痛みを感じてきたが、同じ作業を続けてしまった。	50	10805	19	10～ 29
2017	9	14～ 15	被災者は、ドライドックNo.5にて、他の作業員とエアークラッシュを使用し、シャフトボルトを締めていた、他の作業員が操作し、被災者は作業員の横で支えていた、作業員がエアークラッシュを次のボルトに移動した際、スイッチに無意識に触れるか動かしてしまい、エアークラッシュがリバースモードになった。その	26	170209	6	1000 ～ 9999

			まま作業員が操作レバーを握った際、エアインパクトが逆方向に作動し、被災者の顔に当たった。その際、顔面打撲、上下唇裂傷及び歯の一部を欠損した。				
2017	9	7～8	キッチンにてオニオンスライスを仕込む際、誤ってスライサーで右手親指先端を切ってしまった。	20	140209	8	50～ 99
2017	9	11～ 12	現場作業中、包丁で食品を切っていた際、包丁がすべり指先（左手小指先）を切ってしまった。（指先切断）	34	10109	8	50～ 99
2017	9	21～ 22	厨房内にて餃子ストッカーに餃子を入れようと蓋を開けたところ、蓋裏のビスが緩んでいた為、ステンレス部分で右手人差し指を切った。	37	140201	8	10～ 29
2017	9	10～ 11	花だいら、コスモス畑で除草していた際、鎌で左手の小指を切った。	73	150101	8	50～ 99
2017	9	9～ 10	作業場で、寿司用のマグロ（冷凍柵）を包丁でカットした際、最後の2切れ分位のカット時に勢いづいて滑り、右手親指の腹を削いでしまった。	24	80201	8	100 ～ 299
2017	9	7～8	船上で矢引のカンに立ててある棒を抜き取る作業中、切断しようとしたところ勢いあまって左手人差し指を間切りで切ってしまった。	41	70201	8	30～ 49
2017	9	16～ 17	お客様宅において、夕方に給湯器の取り付け工事で、鉄板の穴空け作業中にドリルで負傷、穴空け材料（鉄板）の固定が不十分であった為、手元が不安定になったと考えられる。その結果、鉄板を押さえていた左手中指をドリルで切った。	64	80203	8	1～9
2017	9	10～ 11	工場において、プラスチック製品のバリ取り中に、右手でナイフを持ち力を入れた所、ナイフの刃が滑り、右中手指関節を捻挫した。	36	10805	19	30～ 49
2017	9	9～ 10	小学校給食調理室内シンク傍の作業台で、キャベツを包丁で裁断中に自身の手に持っていた包丁が滑り、キャベツを押さえていた	38	10109	8	30～ 49

			左手親指第一節先端部を切った。					
2017	9	10～ 11	作業場で、とんかつをカットして包丁を置く際、まな板にひっかかり落ちかけた包丁を取ろうと右手でつかんでしまい、右手小指を切った。	44	80201	8	100 ～ 299	
2017	9	14～ 15	センター内、モデルハウス新築工事現場にて基礎工事中、基礎の型枠を組んだ際、膝でコンパネを押さえながらカナヅチで釘を打っていたところ、空振り、鞏丸部を打ってしまった。	41	30202	6	1～9	
2017	9	10～ 11	測量をするための杭を立てようと、地面に鉄ピンをさして石頭ハンマーで叩いたところ、鉄ピンの頭が欠けてしまった。その際に破片が左足ふくらはぎに飛んできた為、ふくらはぎに突き刺さって負傷した。	68	30309	4	1～9	
2017	9	15～ 16	当事業場調理場にて、仕込みをしている際、誤って包丁で右手親指を切った。当初は傷も浅く、出血も酷くなかったため、その後も普段どおり業務を行っていた。数日経ったころから、傷口の腫れが酷くなり、受診したものである。	39	140201	8	30～ 49	
2017	9	11～ 12	トラックエンジンセミオーバーホール作業中、車両下部において、エンジンコンロッドを締めつけたところ、コンロッド取り付けナットからボックスが外れ、握っていたトルクレンチとともに勢いよく手がシャシーフレームの方向へ飛ばされ、フレームの間に右手薬指が挟まり受傷した。	32	80202	7	30～ 49	
2017	9	11～ 12	店内キッチンで、肉のブロックをカットしている時、誤って左手小指をナイフで切ったものである。	41	80209	8	10～ 29	
2017	9	9～ 10	ハンバーガーショップのキッチンにてキャベツの千切りをしている最中に、左人差し指を包丁で切ってしまった。	43	140201	8	10～ 29	
2017	9	9～ 10	派遣先事業所の調理室において、人参の皮剥き作業をしている際に、手が滑ってしまい、人参を持っていた左手親指を負傷した。	26	170101	8	100 ～ 299	

2017	9	9～ 10	店舗厨房で、刃が指側を向いたまま洗浄した為、右手親指を深く切傷した。	20	80209	8	10～ 29
2017	9	15～ 16	店でおでんを作成している時にナイフで左手の指を切った。	17	80209	8	10～ 29
2017	9	22～ 23	キッチン洗い場にて、食材の入ったボウルにラップかけをしていたとき、ラップの刃にボールがすべってラップの刃が指にあたり、左手付け根を傷つけた。	59	140201	8	10～ 29
2017	9	15～ 16	店舗2階事務所に設置しているチェストフリーザー内の霜取り作業をしていた。ステンレス製のシール剥がしを左手に持ち作業中、左手が滑り右手を直撃し指を切った。	28	140201	8	10～ 29
2017	9	10～ 11	樹木撤去後の植樹柵閉塞作業に使用する改良土の入ったバツカン（約30kg）を軽四ダンプの荷台より台車へ移動を行う際、腰に痛みを感じたが、しばらくすると、痛みが和らいだため、作業を再開し、今度は台車からスコップで改良土を降ろす作業を行っていた時、スコップでの作業のため、腰をかがめ体を何回も回転させたため、前回以上に激痛が走り動けなくなった。	51	30199	19	50～ 99
2017	9	11～ 12	病院内厨房において、患者の昼食を用意するため、食材を切り分ける業務を行っていた。その際、包丁で左手人指し指を切傷したものである。	53	130101	8	300 ～ 499
2017	9	9～ 10	駅地下通路で、エレベーター設置に伴う仮囲い（軒天）を構築作業中、軒天の固定を行う為に天井にビスの穴を削孔しハンマーを振り上げ打設していた時、保護手袋をしていない状態で振り上げた手を軒天に打ちつけ、右手の甲を負傷した。	53	30201	7	1～9
2017	9	9～ 10	たまねぎを切る作業を行っていたところ、たまねぎの端の部分で切ろうとした時、包丁の刃がたまねぎの形に添ってすべり、左手中指の爪の一部をそぎ落とした。	34	10109	8	1000 ～ 9999
			ピザ切り用の牛刀の刃の部分にこびりついたチーズを取ろうと、				

2017	9	23～ 24	カウンタークロス白を刃に当て親指とその他の指で挟み拭いた際、勢いあまり、牛刀の刃が右手親指に接触し切ったものです。切った部分が広く、血が止まらなかった為、勤務終了後、病院へ行った。	22	140201	8	10～ 29
2017	9	8～9	地下鮮魚作業場で包丁を研いでいる時に、包丁がすべり左手ひとさし指と中指を切った。	66	80209	8	30～ 49
2017	9	8～9	海産物作業場にある寿司加工場において、材料である寿司ネタの袋を開封しようとしていた、通常はハサミで開封してネタを取り出すところを、近場にあった包丁を使って開封しようとした。利き手が左であるので、左手に包丁を持ち、ネタの袋を右手に持って、開封しようとしたところ、包丁が滑り右手の中指を切るけがをした。	55	80201	8	50～ 99
2017	9	16～ 17	被災者は、組合事務所車庫で地籍調査に使用する杭を作っていた。太さを揃えるため、ナタで竹を割っていたところ、無意識に立てていた親指に刃が当たり受傷する。	19	60209	8	1～9
2017	9	15～ 16	バックヤードで冷凍のタラ（80g）が2つにくっついていたので、包丁で切り離そうとして包丁に力を入れて切っしまい、タラを持っていた左手の中指、環指の付け根部分を切り負傷した。	69	80209	8	10～ 29
2017	9	13～ 14	工場内で木材の加工中クランプではさまれ、左手人差し指を負傷した。	61	10501	7	10～ 29
2017	9	8～9	店内の中華惣菜の厨房において、包丁殺菌庫を清掃している時に包丁の刃が指にあたり、左手の中指を切っしまい、3針縫合した。	49	140201	8	1～9
2017	9	14～ 15	被災者は、小学校校舎大規模改造工事に従事、北面1Fガラリ部（建物の中にある空気を抜く穴）を既存シーリング撤去の際、低い場所にガラリが設置だった為体を寝せてガラリ水切上部に左手を置いて水切下部の既存シーリングを手動カッターで除去中にカッターが滑って、支えていた左手の手のひらを負傷した。	25	30209	8	1～9

2017	9	13～ 14	駐車場で、スペアタイヤ交換中、タイヤホイールナットが緩ま ず、力を加えた時、使用していた工具（レンチ）が一回転して、 右手薬指にあたった、さほど痛みが無かった為、そのうち治るだ ろうと思い、放置していたら悪化した。	36	11701	6	10～ 29
2017	9	15～ 16	店内園芸用品売場にて園芸ビニールシートをカッターナイフで カット中、手を滑らせてしまい、左手を負傷した。	51	80209	8	10～ 29
2017	9	9～ 10	売場で、ダンボールの結束ひもをカッターで切ろうとした際、切 れにくく力を入れたところカッターの刃で左手親指・人差しの指 先を切って4針縫合した。	48	80209	8	300 ～ 499
2017	9	16～ 17	自社工場において、厘木の上に置かれたH形鋼にへこみを見つけた ので、そのへこみを修正しようと右手に持っていたスパナで、そ のへこみを引っ張り上げようとしたところ、スパナがそのへこみ から外れ、その外れた勢いで右手に持っていたスパナが右目に直 撃した。	24	11209	6	10～ 29
2017	9	23～ 24	加工済み後の木材加工場において、カッターナイフ使用し、右手 で木材片の除去作業中、急いだあまり、当該カッターナイフによ り、左手甲部親指付近より裂傷。本来はノミにての作業が適切で ある。	38	10401	8	30～ 49
2017	9	6～7	当社の工場内にて豚肉を包丁で切る作業中、誤って左手第一指と 第二指の間を切って負傷した。	53	80109	8	50～ 99
2017	10	13～ 14	ゴルフ場のアスファルト工事現場で舗装作業をしている時に、油 で汚れた軍手が原因で、手に持っていた作業道具のコテが手から 滑り落ち、コテの先端部分が右足の中指部分に落下し負傷した。	50	140301	4	100 ～ 299
2017	10	12～ 13	資材置き場にてトラックに積まれた資材の下にある角材の位置を 調整しようとして、右手に持ったハンマーで角材を叩いていたと ころ、手元が狂いハンマーの柄を持っていた右手をトラックのあ おり部材にぶつけてしまい、右手中指を負傷してしまう。	23	80109	3	10～ 29

2017	10	11~ 12	派遣先事業所の工場内において、トレーラーの荷台床補修作業を実施していた際、床板を全てはがして、フレームとケタの状態で作業中、本来は足場板をかけ、固定をした上で作業を行うところ、固定をせずに左手に工具を握ったままの状態です場板の上を歩き、バランスを崩し落下した。約1m弱の高さの為、両足は着いたが、工具を握ったままの左手を落下した際にフレームに強くぶつけてしまい、フレームと工具の間に左手を挟む様な状態となっ てしまい負傷した。	20	170101	7	50~ 99
2017	10	11~ 12	工場内においてトレーラーの荷台床補修作業を実施していた際、床板を全てはがしてフレームと桁のみの状態で作業中、本来は足場板を固定した上で作業を行うところ、固定せずに左手に工具を持ったまま移動し、バランスを崩して落下した。1m程度の高さの為、両足で着地したが、工具を握ったままの左手をフレームに強くぶつけてしまった。その際に左手薬指と小指がフレームと工具の間に挟まれ骨折した。	20	11701	7	50~ 99
2017	10	8~9	一戸建新築工事現場において、車庫内で養生に使用するための厚さ2.5mmのベニヤ板を長さ17cmのカッターで切断していたところ、勢い余って定規に使用していた板がズレて押さえていた左手の親指にカッターの刃が触れ負傷したもの。	23	30202	8	1~9
2017	10	18~ 19	基礎型枠組立作業中に根伐底で、型枠材の建入れを調整中に、釘止めをしていたパネルを調整する為、一旦釘を抜こうと釘抜きで勢いよく釘を引き抜いた際、抜けた釘(長さ65mm)が飛び、左目に当たる。	22	30201	4	10~ 29
2017	10	13~ 14	店舗厨房にて、包丁で大トロを切りつけている際に、誤って右手小指を切ってしまった。	33	140201	8	100 ~ 299
2017	10	9~	昼食の下準備のため、調理台にて大根の切断作業を行っていた。その際誤って右手に持っていた包丁で自分の左手（大根を押さえ	54	130201	8	50~

		10	ていた) 中指第2関節付近を2cm程切ってしまった。					99
2017	10	15～ 16	アルミのアングルに貼ったマスキングテープをはがす作業で、左手にアングルを持ち、右手に持ったカッターでテープの端からはがしていたところ、勢い余って左手薬指指先から第二関節の中指側付近を負傷。防護手袋などは装着していなかった。	29	11509	8		100 ～ 299
2017	10	9～ 10	鮮魚作業場内で発生した。刺身を加工時、包丁の付着物を拭き取ろうとした際、誤って包丁を滑らせてしまい、(落とさない様に)慌てて包丁をつかもうとしたところ、右手の親指に刃が触れてしまい負傷してしまった。	50	80209	8		100 ～ 299
2017	10	20～ 21	レストラン調理場で、調理をする為に包丁を用いていたところ、手を滑らせてしまい、包丁が落下。右足の甲に包丁が突き刺さった。	15	140201	4		50～ 99
2017	10	11～ 12	被災者は、当社工場内において、陸上競技用マット(走り棒高跳び用)を製作中、マットの接続用ベルト(長さ40cm、幅6cm)の端に折り目をつけようと左手示指で押さえ、プラスチック製重さ550kgのハンマーで叩こうとしたところ、誤って指に当たってしまい負傷した。	46	10309	7		1～9
2017	10	16～ 17	木造2階建ての工事現場で、2階屋根下地のコンパネ(1800cm×900cm×12)釘止め作業中、自動エアー釘打ち機で、野地板を右から左に打ってきて、左足の安全靴の上(靴の先から7～8cm位のところ靴の補強金物より、2cm位入った位置)に誤って釘を打ち込んで負傷した。	30	30202	8		1～9
2017	10	9～ 10	給食室の作業台で、包丁とまな板を使い、ちゃんぽんラーメンの具に入れる白菜を切っていて、誤って左手人差指を切ってしまった。	59	130201	8		10～ 29
2017	10	14～ 15	店内にて、グリル(60cm×60cmの肉を焼く鉄板)の清掃をしている際に、誤ってグリルを左足の上に落としてしまった。	20	140201	4		1～9

2017	10	15～ 16	工場内のカット洗浄室でスライサーの刃の点検をしていた時に、誤ってスライサーの刃を落として、左足膝関節部の上にスライサーの刃が当たり怪我をした。	31	10109	4	300 ～ 499
2017	10	15～ 16	工場内の水平切スライサー（スポンジを切る機械）の刃を掃除する為、刃枠ごと本体から外し、刃（波刃）をタオルで拭いていた際にタオルが引っかかり、持っていた右手人差し指が誤って刃に触れ、切ってしまった。	59	10104	8	50～ 99
2017	10	11～ 12	輸入系食品を扱う倉庫にて、段ボールカッターを用いて段ボールを開梱し、食品を集品中に、軍手を着用していなかった為、手を滑らせ、カッターの刃に右手親指付け根に当て、負傷した。	20	40301	8	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	店舗内調理場にて、大根を切っていた際、誤って包丁で左手の人差し指と中指を切ってしまった。	23	140209	8	30～ 49
2017	10	12～ 13	店内厨房のシンクにて包丁を洗っていたときに右手の小指を受傷した。	21	140201	8	30～ 49
2017	10	12～ 13	店内キッチンにて、ミルフィーユ鍋の具材を切っていた際、急いでいて左手に包丁の刃が当たり、左手拇指を切傷した。	45	140201	8	30～ 49
2017	10	14～ 15	大型トラックにて、鉄板（1m×8m×1804kg×15枚）の搬送中、バランスの悪さと振動により荷崩れを起こしたので、道路脇に停車して荷台上で台木にバールを添えて鉄板を移動させようと力を入れた時に、バールが滑って右手第四指を台木との間に挟んで負傷したもの。	48	40301	7	10～ 29
2017	10	11～ 12	造園工事において、一箇所に集めていたゴミを持つとした際、ゴミの中に苧込バサミが入り込んでしまっており、その苧込バサミで右手中指を切ってしまった。	30	30309	8	1～9
2017	10	11～ 12	先間排水小管布設替工事において、古配管の撤去作業中、老朽化した配管のネジを取り外そうとセットハンマーで強く叩いた際、左手首にゴムの切れたような感覚と、激痛が走ったもの。	27	30110	19	10～ 29

2017	10	10～ 11	駐屯地内給食施設にて、具材の小松菜を裁断しているとき、小松菜の束がくずれてしまい、咄嗟にそのくずれを直そうとして、左手の人さし指の爪の部分を含む先端約2cm程を深く削いでしまった。	39	170201	8	100 ～ 299
2017	10	9～ 10	鮮魚作業場で刺身加工中、冷凍商品だった為力を入れすぎて左手小指を2cm切ってしまった。	50	80209	8	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	会社の資材置場でゴミ（配管材）を細かく切る際に結束してあるビニールテープを切ろうとして、切ったと同じに左手親指まで切ってしまった。（現場の特定しない事務作業であった。）	34	30301	8	1～9
2017	10	19～ 20	店舗厨房にて、アボカドを仕込んでいる際に、誤って包丁で左手のひらを切ってしまった。	21	140201	8	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	水産作業場で、包丁で真鯛を三枚おろしにしようとした際、包丁が中骨に引っ掛かったが包丁を進めたところ、右手人差指に背びれが刺さった。	55	80201	8	300 ～ 499
2017	10	9～ 10	店舗厨房にて、アボカドを仕込んでいる際に、誤って左手中指を切ってしまった。	17	140201	8	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	調理場を整理している最中に包丁ケースが落ち、その際に落下は目視していないが、足下に包丁が落ちていたのと、左足に激痛があり中の白い部分が見えていた。	46	140201	4	—
2017	10	21～ 22	調理場にて仕込みの為に生肉を切っていた際、誤って包丁で左手の中指を切創。応急処置をして様子を見たが悪化した。	19	140201	8	10～ 29
2017	10	19～ 20	青果作業場で柿の段ボール箱を潰す最中、左手で箱を押さえ右手に持ったカッターで箱の端を切ろうとして、一緒に左手を切ってしまった。	50	80201	8	50～ 99

2017	10	10～ 11	加工場で冷凍のトロガツオを切っていた時、包丁が滑って左手親指の第一関節に当たった為、切れてしまった。	39	80209	8	10～ 29
2017	10	10～ 11	就業中、厨房にてキャベツを短冊切りにし終えた時、誤って左手薬指先を切ってしまう、血が止まらず病院で5針縫った。	38	80209	8	1～9
2017	10	8～9	青果バックヤードにて、かぼちゃの切り直し作業をしていたところ、包丁が滑って左手の親指の付け根付近を切ってしまった。	17	80209	8	50～ 99
2017	10	11～ 12	現場で床タルキに釘を打っていた時、手が滑って打ち損じて、左手の親指に金槌があたり内出血した。	32	30202	3	1～9
2017	10	21～ 22	店舗厨房にて仕込みをしていた際に、注文が入りマイナスになってしまったので、早く肉を切ろうと焦ってしまい指を切ってしまった。	50	140201	8	10～ 29
2017	10	15～ 16	当社作業場（工場）において、両面テープをカッターで手前に向かって切断しているとき、力が入っていたため、手が滑り、カッターが手から抜けてしまった。勢いよく手から抜けたカッターの刃が腹部にあたり、切り傷を負った。	17	10409	8	1～9
2017	10	13～ 14	資材置場にて、エラスカット作業中カッターナイフで削るため、カッターナイフ使用中左手指を切ってしまった。	39	30209	8	10～ 29
2017	10	9～ 10	病院事業所厨房内にて、切り込み作業中、大根を千切りにしている時、誤って包丁で、左手の人差し指、中指を切った。	58	140201	8	10～ 29
2017	10	16～ 17	工場で、製造工程にて軍手をしてキャベツの芯取り作業中に、ペティナイフでキャベツの芯をくり抜く作業で、芯をくり抜いた瞬間に誤って左手首にペティナイフが刺さり負傷した。芯をくり抜く瞬間に、勢い余って手首を刺したものです。	48	10109	8	30～ 49
2017	10	10～ 11	自動工場にて、ひじきをストックコンベアに投入作業中に、ストックコンベアの横に置いたカマが右大腿部に刺さり、右大腿部切創、右大腿四頭筋損傷をした。	42	10102	8	50～ 99
			当車工場内において木箱の組み立てをしている際の事故。木材加				

2017	10	11～ 12	工に使用するためのハンマーを右手に持ち、左手で木箱の接面を移動しないように支えながら、釘を打ち付けている時に、誤って左手薬指を打ち付け、第1関節部先を複雑骨折した。	39	11209	3	10～ 29
2017	10	14～ 15	調理場で包丁で玉ねぎを切っている時に左手小指を切った。	47	80209	8	100 ～ 299
2017	10	19～ 20	バックヤードで包丁を洗っていた時、誤って右手人差し指を切創した。	20	80209	8	100 ～ 299
2017	10	15～ 16	ヤード内において振レ止めケーシング（φ600）を0.2?BH排土板に装着するためにハンマーにて打撃押し込みする際、右手人差し指がハンマーを空打ちし、排土板に打ちつけ裂傷した。	23	170209	7	1～9
2017	10	10～ 11	会社工場内において、円柱型タンク（直径1,010mm 高さ1,000mm重さ約40kg）のフランジに製造番号を刻印するため、刻印パンチ（縦12mm横12mm長さ78mm）を鉄ハンマーを叩いていた処、左手に持っていた刻印パンチがずれ、誤って鉄ハンマーで左手母指末節部を叩いて負傷した。	21	11209	6	1～9
2017	10	18～ 19	現場終了後、事務所に戻ってきて道具を片付けている際、ランマーを片付けようとして持ち上げた途端腰に大きな痛みを感じた。	39	140201	8	10～ 29
2017	10	9～ 10	厨房で野菜の切裁中に力を入れてにんじんを切っている時に、誤って指先を包丁で切ってしまった。	38	170209	8	1～9
2017	10	10～ 11	被災者は機器点検修繕工事に従事していた。遮断機操作拍のゴムパッキン取り替え工事に着手。ゴムパッキンを剥がし、残ったボンドをアルコールで清掃除去するための容器の内蓋をカッターナイフで十字に切り目を入れようとした際カッターナイフが根元から折れ、左手親指付根を負傷した。	21	30301	8	300 ～ 499

2017	10	14～ 15	製造場所でケーキ製造時に、缶切りを使用して缶の開缶部を持ち上げようとした時に、手を滑らせ開缶部と接触し、手を怪我した。	42	10104	8	1～9
2017	10	13～ 14	校内給食室で、釜洗浄に使った鉄のつめ、タワシの洗浄をしていた。水槽内で、洗った鉄のつめ、タワシをふり洗いしていたところ、鉄のつめが右手首にあたり切創したものである。	39	120109	8	50～ 99
2017	10	17～ 18	店舗厨房にて、鉄火巻きを切る際に、誤って左手人差し指を切った。	17	140201	8	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	また板（45cm×100cm、8.7kg）を洗浄し片付ける際に、手が滑り右足小指にまた板が落下した。	18	80209	4	50～ 99
2017	10	13～ 14	2期新築工事現場において、分電盤の電線をカッターナイフで切断するため斜めに刃を入れ強く切った際、カッターナイフが滑り左手人差し指を切傷した。	23	30201	8	1～9
2017	10	10～ 11	山林で、間伐作業中に伐採した木の枝を鉈で切り落としていた。その際、狙いを定めていた枝に振り下ろした鉈が違う枝に当たり、方向が変わって右手の甲に直撃し裂傷した。	44	60201	8	1～9
2017	10	9～ 10	田で黒枝豆を収穫中、豆の葉をカマで切っている時、左手ひとさし指をカマで切った。	37	60101	8	1～9
2017	10	14～ 15	工場内にてプラスチック成形をしている機械から出てくる成形品のバリ取りをしていたら、誤って手が滑って成形品ではなく、ナイフにて左手首を刺した。	24	10805	8	10～ 29
2017	10	13～ 14	工場内にて、家具作成のため、手おしかんなで、約W50、H2000、t=10の材木を加工中、そえていた右手親指が滑り、かんな歯に接触し、右手親指の先を負傷した。	19	10501	8	10～ 29
2017	10	8～9	店の鮮魚部門のバックヤードで、包丁でブリのカマの固いところを切っている時、包丁を握っていた右手が滑り、包丁の刃で右手	27	80209	8	50～ 99

			人さし指と中指を切った。				
2017	10	8～9	牛枝肉を処理中に手が滑り右太ももを刺し負傷したもの。	39	80109	8	30～ 49
2017	10	16～ 17	当社第一工場の調理場で、冷凍サバのフィーレを切り身にする作業をしている時、終業時刻が迫っていたこともあり、右手で持っていた包丁の手元が狂って、フィーレをおさえていた左手の人差し指を切って負傷したもの。	65	10102	8	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	学校給食センターの洗浄室において、食器を洗浄するため、はしかご、ひしゃく、トング、器の入った食器かごを食器を運ぶ移動式の棚の内部から天井部分に右手で移動させた時に、天井部分に置いていた左手の上に置いたため、食器かごの中にあつた食器の一部で左手の人差し指を切った。	48	10109	8	10～ 29
2017	10	10～ 11	厨房内で、肉の脂身を包丁でとっていたとき、脂で手が滑り、左手の親指と人差し指の間を切ってしまった。	24	140201	8	50～ 99
2017	10	14～ 15	弊社内で、破碎機投入コンベアーのゴムの部分がめくれていたため、カッターでめくれた部分を切り取っている時に手元が滑り、左ふくらはぎを切った。出血していた。	46	150102	8	50～ 99
2017	10	10～ 11	作業現場にて前出しの作業中に商品の段ボールをカッターで開封している際、カッターで左手小指を損傷した。傷が深かったため止血処理後、病院で6針縫う。	33	170101	8	10～ 29
2017	10	10～ 11	倉庫構内で格納作業中、段ボールをカッターで開封している時に誤ってカッターで左手小指を損傷した。（恐らく手前から外へする動作を、逆に内へ向かって動作した事による）傷が深かったため、止血処置後病院で治療。	33	50101	8	100 ～ 299
2017	10	14～	自社工場の印刷機ユニット内で、版替え作業中に、テーパーコンと版が、インクがこびりついて取れなかったため、別のテーパーコンで叩いて取ろうとした際、叩いた方のテーパーコンが欠けて	28	10701	4	50～

		15	右眼に当たり、二日間視力を失い、その後も見えづらくピントを合わせるのに時間が掛かる。症状が良くならなかったため、今回手術に至った。					99
2017	10	9～ 10	小学校の調理室で大根を切っていた際に左手の親指のつけねあたりを切った。（8針縫合）	27	10109	8	1～9	
2017	10	14～ 15	工場敷地内で3トントラックのリヤパワーゲート上部を、電動カッターで切断作業中に切断部位が下がらないように右手でマイナスドライバーを持ち切断部に差し込んでもらい、固定して切断していた時に切断面からカッターが左に弾かれ左側でドライバーを持っていた被災者の右手甲を負傷させた。	63	11701	8	1～9	
2017	10	10～ 11	店の鮮魚部で、魚の調理でぶりの頭を取る作業中に、不注意により、エラのすぐ下のカマの部分が頭よりも先に取れてしまい、その衝撃で左手親指を切る怪我をした。（包丁で切った）	26	80209	8	100 ～ 299	
2017	10	14～ 15	鶏舎で、被災労働者が、鶏が足を痛めないように巣箱の中の金網に人工芝を敷いていた。敷いた人工芝がずれないようにインパクトドライバでビス止めし、次の巣箱に移動していたときに、手が滑って持っていたインパクトドライバを落としてしまった。落ちたはずみで電源が入り、ドライバのドリルが右足の甲の内側に長靴の上から刺さり負傷した。	59	70101	4	100 ～ 299	
2017	10	8～9	被災者は当社鯉節加工場内で、鯉を左手に持ち、右手に包丁を持って三枚に卸す作業をしていた。その際、過って包丁の刃先が左手中指の先端に触れ、負傷したもの。	21	10102	8	10～ 29	
2017	11	20～ 21	B1F青果作業場において、カボチャを切る「スパッター」の洗浄作業中、刃の部分をダスターで拭いていた時に誤って右手小指を切ってしまった。傷が深かったため救急搬送。傷口を数針縫い、全治7日～10日。	64	80209	8	100 ～ 299	
			建物内部の改修工事現場において、壁の仕上げ材、石膏ボードを作業員がバールにて撤去している時、被災者が撤去した石膏ボ-					

2017	11	14～ 15	ドを片付けようと作業員の足元に近付いた。声を掛けずに近付いた為、被災者が足元にいるのに気付かず、作業員がバールを引いた際、被災者の左眼に当たり負傷した。	19	30202	6	1～9
2017	11	11～ 12	本社食肉加工場において、鳥モモ肉（15cm位）の塊を包丁で切断をしようとしていた。本人の不注意により、包丁の刃でなく、包丁の背が接していたことに気付かずに切断しようとした。切断出来なかったため、上向きにあった刃を背だと思い左手で押し付けた為に、左手人差し指を負傷した。	50	10101	8	30～ 49
2017	11	15～ 16	事業所第2工場機械室の鶏糞を掻揚げベルトコンベアのベルトが片側に寄ってきたので、修復しようとしてバールにてローラー周辺へ鶏糞を取り除いていた時、バールがローラーに巻き込まれコンベアフレームとバールの間に指が挟まれ骨折した。	42	11709	7	10～ 29
2017	11	15～ 16	店内鮮魚作業室で冷凍のカツオを解体している際、冷凍でやや硬かったため力を入れて切った。左手でカツオを押さえ、右手で包丁を持ち、力を入れた時右手が滑り、左手首に刃が当たってしまった。	37	80201	8	30～ 49
2017	11	14～ 15	測量杭設置の為に、3kg程度の重さの掛矢で高さ1.5メートルの丁張杭を打ち付けている最中に、重さ約2.5kgの掛矢の頭部が柄から外れて当該従業員の左鎖骨に当たった。掛矢頭部と柄の結合部分が打ち込み作業に伴う振動により緩みが生じた為に、頭部が柄から外れてしまった。	62	30106	4	1～9
2017	11	9～ 10	メッキ作業の合間にゴミや段ボールを集め捨てようと、右手に段ボール・ナイフ、左手にビニール袋を持って移動していた際、スポットクーラーが通路に出てきた為、手で押し戻した。スポットクーラーが戻った拍子に棚が倒れ、棚を避けようとした足元に塩酸の槽があり頭から転倒し塩酸が目に入り咄嗟に右手で顔を覆った時に誤ってナイフで顔を裂傷した。	27	11502	8	100 ～ 299

2017	11	11～ 12	粉砕機の下で作業している時に、粉砕機の上に置いてあったハンマーが振動で落下してきて、右手の小指に落ちてしまった。	24	10805	4	10～ 29
2017	11	10～ 11	社内倉庫内にて取引先による発注伝票を元に、それぞれの会社別コンテナに在庫確認中、1つの会社の在庫確認終了後、所定の場所にコンテナを設置し移動中、両手でコンテナを持ち運び、他の商品棚の隙間を通過する際、左肩がぶつかり、動きずれた為、両手に持った荷物をその場に下ろし斜め後方を振り返ると、ズルズルと傾き落ちそうな感じだった為、急いでそのまま体を捻った状態のまま落下物を受け止め（衣類等を収納する箱、高さ約155cm位、重さ約18kg位）商品を守り足がクロスした状態のまま、荷物の下敷きとなったまま身動きがとれず、助けを求めたが、倉庫内の為、しばらく気付いてもらえず体中圧迫状態が続いて固まってしまい、救急車にて病院へ搬送された。	40	140301	8	30～ 49
2017	11	20～ 21	局内で、棚からお米を取り出した際に右腕に痛みを感じた。当日はそのまま定時まで作業を行い、後日病院での診断の結果、肉離れと診断された。	18	140201	8	1～9
2017	11	11～ 12	ケースエリアにおいて、パレット奥に積まれたダンボール入り商品を持ち上げ、通路反対側のベルトコンベアに投入しようとした際、腰部を捻り負傷してしまった。	49	30202	6	1～9
2017	11	10～ 11	顧客へ電話をするため営業部テナントビルの屋上に上り、営業部へ戻ろうとした際、階段で足を滑らせて転倒してしまった。	25	140201	8	10～ 29
2017	11	21～ 22	厩舎本馬場において、競走馬の調教中同馬が第一コーナー付近で物見をし、暴走したのでブレーキを掛けたら急に止まり、そのまま前のめりに落馬し、腰、胸等を負傷したものである。	50	80209	8	30～ 49
2017	11	17～ 18	厨房にて冷凍マグロの柵取りをしていた、右手に包丁を持ち、左手で魚を押さえ包丁を動かした時、包丁が滑り、左手掌側面を約7～8cm切ってしまった。かなり深く切ってしまった為、救急車にて搬送され、傷が神経まで達していた。	45	80209	8	1～9

2017	11	11～ 12	水産作業場にて、イナダを三枚に下ろしていたところ力が入り過ぎ、右手中指に背びれが刺さり負傷した。	42	80209	8	100 ～ 299
2017	11	8～9	店舗プレパレーションで、サラダミックスカット作業中、包丁の逆手の添え手である左手薬指が飛び出した添え方をしており、包丁で切っけてしまい受傷した。	18	140201	8	30～ 49
2017	11	10～ 11	調理補助の仕事で、野菜をカット中に包丁で左手薬指を切っけてしまい負傷した。	55	140201	8	10～ 29
2017	11	9～ 10	工場内にて、クッキーを製造する際、生地を絞り出し、カッターで切りオープンへ入れる途中の作業で、形の悪い生地を取り除く時、誤ってカッターに指が入ってしまった。	40	10104	8	1～9
2017	11	19～ 20	加食売場において小麦粉を品出し後、空箱を片付けるためしゃがんでつま先立ちになり両足の間に空箱を挟み左手で空箱を押さえて右手に持ったカッターで上から下に切った際、勢い余って刃先を右足太ももに刺してしまう。3針縫合となった。	16	80201	8	50～ 99
2017	11	14～ 15	2.5m上部の作業床に梯子にて移動する際、配管との間の折りガラを取り除く作業時に、バールにてガラを取り除く作業中にバールが外れ、その反動にて後ろ向きにて転落した。その際、下にて、ガラを取り除く作業を行っていた作業員に当たり転落した。	79	30209	1	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	店舗厨房内で、キッチンバサミを使用し、鶏肉をさばき中、声を掛けられて振り返った時に、ハサミから目をそらした為、左手小指先端を切断し受傷した。	28	140209	8	30～ 49
2017	11	16～ 17	店舗内青果売り場において、顧客からの依頼で牛蒡をカットしようとした際に、右拇指にカッターの刃が当たり負傷したものである。（左利きのためカッターは左手で持っていた。）	23	80209	8	100 ～ 299
2017	11	9～	航空機用化粧室組立工程において、部品取り付け時の接着剤が過度に塗布されていたため、はみ出し部分をカッターで除去する作	41	11509	8	300 ～

		10	業を行っていた際に、押さえていた左手人差し指方向へカッターが滑り切創した。					499
2017	11	11～ 12	当社野菜・果物加工工場内で、被災者は、電動フードスライサーによるキャベツの千切り加工であらかじめコンテナに入った芯を取り半分にしたキャベツ（3箱30kg）を1個ずつ機械のコンベアベルトに載せ搬入する作業中、比較的大きなキャベツ（直径約20cm）があった為、投入前に近くの作業台へ行き、キャベツを左手の平に載せた状態で、右手に持った包丁（刃渡り15cm）を使用し、縦に切った（千切りキャベツの長さを均一にする為）際、左手環指先端を切傷した。今後はまな板を使用し、再発防止に努める。	47	10109	8		50～ 99
2017	11	15～ 16	工場において、プラスチック製品のバリ取り中に左手でナイフを持ち作業していたところ、左手に力を入れたところ、ナイフの刃が滑り、左手関節を捻挫した。	36	10805	19		30～ 49
2017	11	17～ 18	工場作業エリア内において、チューブの配線をしていた。誤ってチューブカッターを握ってしまい右手人差し指を切傷した。	40	11403	8		50～ 99
2017	11	10～ 11	小学校の給食室、穴開き調理台の上で、まな板と包丁を使い、玉ねぎを薄切りにしていたところ、不注意で包丁の刃を滑らせ、左手親指の爪の真ん中辺りから左側を切ってしまう傷を負った。	44	10109	8		50～ 99
2017	11	16～ 17	事務用・通信用機器組立作業場においてプラスチックダンボールで用品入箱をを作成中、プラスチックダンボールを床面に置いてカッターナイフで切り込みをしていた時、誤って金尺で押さえていた左手にカッターが当たり負傷した。	61	170101	8		100 ～ 299
2017	11	16～ 17	事務用・通信用機器組立作業場においてプラスチックダンボールで用品入箱を作成中、プラスチックダンボールを床面に置いてカッターナイフで切り込みをしていた時、誤って金尺で押さえていた左手にカッターが当たり負傷した。	61	11709	8		10～ 29
			当社店舗キッチン内において、キッチン担当者が手鍋で作ったラ					

2017	11	14~ 15	ンチスープをスープウォーマーに移す作業後、手鍋にスープが残っているのに気付かず誤って横にいた被災者の左足（膝下）にかかってしまった。氷水で冷やし様子を見たが痛みがあるため病院に受診した。	39	140201	11	30~ 49
2017	11	7~8	レストラン（ホテル）で野菜をスライサーでスライスしていた時に、誤って右手小指を切ってしまった。	63	140101	8	50~ 99
2017	11	11~ 12	工場内の野菜カット室で人参を乱切りする際、誤って包丁で左手中指を深く切ってしまった。	28	10109	8	30~ 49
2017	11	4~5	店内で新聞の納品をしていたところ、徒歩で来店した20代と思しき黒ニット帽、白マスク、サングラスの男性が、レジカウンターに直行し、刃渡り15cmのナイフで現金を脅し取ろうとした。その際、右手親指にナイフが当たり5針縫う怪我を負った。	33	170209	8	10~ 29
2017	11	15~ 16	バックヤードで巻寿司を切っていた時、誤って包丁で左手人差し指を切創した。	21	80209	8	100 ~ 299
2017	11	20~ 21	店舗バックヤードからキッチンへの通路にて、カッターで段ボールを切っている際に、誤って左手親指を切ってしまった。	18	140201	8	50~ 99
2017	11	18~ 19	店内キッチンにて、ネギを切っている時、誤って包丁で左手甲を切傷した。	18	140201	8	30~ 49
2017	11	9~ 10	学校給食センター厨房内において野菜を切っていたところ、誤って包丁で左手の中指を切った。	47	10109	8	1~9
2017	11	13~ 14	かき揚げの玉ねぎを袋から出す際、包丁を用いてビニールを裂いたところ包丁が右人差し指に当たり負傷した。	23	140201	8	10~ 29
2017	11	16~ 17	木に登り、剪定作業中、枝に引っ掛けていたハサミが落下し足に刺さった。安全靴を履いていたが、布の部分に刺さり怪我をした。	41	60101	4	1~9
			レストラン店舗内、キッチンにて、まぐろのはらみの皮を剥いで				

2017	11	12～ 13	いる際、解凍状態が不十分だった為とフィンガーガードの使用を怠った為に、包丁が滑り、左手人差し指に切傷を負った。	59	140201	8	30～ 49
2017	11	9～ 10	給食の準備でしいたけの軸を包丁で切っていて、手元がよく見えなかったため、誤って左手薬指の先を切創した。	47	10109	8	1000 ～ 9999
2017	11	11～ 12	施設の厨房にて食材のロースハムを包丁で切る為、ハムの入っていたビニール袋を開けようと思い左手で袋を持って包丁で袋の左から右へ切った時に、誤って人差し指の先を切り落としてしまった。切った後血が止まらなかったため、当施設の看護師に応急処置をしてもらった。日曜日なので病院が休みである事と人員が少ない事もあり、そのまま仕事を続けた。	46	130201	8	50～ 99
2017	11	15～ 16	厨房器具を洗浄中、包丁を洗っていて刃先が右手に当たった。	55	80209	8	50～ 99
2017	11	13～ 14	厨房内において、キャベツの千切りをしていた際、誤って左手人差し指を裂傷負傷した。	24	130101	8	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	揚げ物をカット中、誤って左手小指の指先を包丁で切った。	56	80209	8	10～ 29
2017	11	11～ 12	食肉センター内において、屠畜検査業務に従事し、枝肉の検査を行っていたところ、検査用牛刀に牛脂が付着していたため、検査用牛刀が手から滑り落ち、その際、右手小指を負傷した。	63	170209	8	1～9
2017	11	15～ 16	厨房内にて食事調理中、来客が多く材料が足りなくなり人参を切っている際、急いで慌ててしまって左中指を包丁で切った。出血がひどかったが、応急的に絆創膏と軟膏を塗って対応した。自宅に帰り痛みが出てきた為、翌日病院に行ったら縫合5針となった。	59	80209	8	1～9
			店内の厨房にて、食品をまな板の上で包丁を使いカットしていた				

2017	11	14~ 15	ところ、まな板の上に置いていた包丁が滑って落ちそうになったため、それを拾おうとした際に右手の小指を負傷した。（右手で掴んだ時に刃が当たり切創）	50	140201	8	500 ~ 999
2017	11	14~ 15	店内の厨房にて、食品をまな板の上で包丁を使いカットしていたところ、まな板の上に置いていた包丁が滑って落ちそうになったため、それを拾おうとした際に右手の小指を負傷した。	50	170101	8	50~ 99
2017	11	14~ 15	第2組立のリアサス搭載工程でトルクレンチを使用してボルトの締め付け作業を行っている時、トルクレンチをしっかり握っておらず手を滑らせて親指を捻り捻挫した。	23	11502	19	1000 ~ 9999
2017	11	7~8	被災者は、鯉節工場内で鯉の生切り作業中、包丁で魚の背皮をはぎ取る際に魚を持っていた左手人差し指先端に包丁があたり切ったものである。	19	10102	8	1~9
2017	11	11~ 12	ビル敷地内で廃棄物入れの自動投棄口を開けようとしたが、カギが引っ掛かって開けなかったため、鉄アレイで4~5回カギの部分を叩いたが、誤って右小指の付け根を強打してしまった。	45	170209	6	1000 ~ 9999
2017	11	13~ 14	工場内の作業台の上で、衿、裾のカット作業中、誤って手指皮膚欠損創をした。	29	10301	8	10~ 29
2017	12	15~16	厨房にて、夕食の調理の際、調理用使い捨てゴム（ニトリル）手袋を付け、まな板の上で食材のピーマンを切っている時、作業を早く終わらせようと半分に切ったピーマンを重ねて左手で押さえ、右手に包丁を持ち切っていたが、食材の水分が残っていた為、左手が滑り包丁で左手親指第一関節部分（手の甲側）を3.0cm弱切り出血した。	42	130201	8	1~9
2017	12	9~10	会社敷地内駐車場にて、除雪した雪を移動する為に載せるモッコ（網）の玉掛け用ロープが長かった為、切断しようとした時、手元がくるい右手で持ったカッターで左手親指を切った。今後、刃物を扱う時には皮手袋の着用、慎重に取り扱い作業する等、朝礼	46	150102	8	50~ 99

			で安全作業の徹底を指導した。					
2017	12	15~16	キッチン内で鶏をさばいている際に、誤って手人差し指（第2関節付近上部）を包丁で切り、裂傷を負ったが、応急処置をし業務を続行した。後日に指の腫れに気付くが業務多忙な為病院には行かず、業務を続行した。その後、指に溜まった膿を出し、仕事を続けた。しばらく経ってから病院を受診したが、骨髄炎の診断を受け、緊急手術を行った。	60	140209	8	100 ~ 299	
2017	12	11~12	店内の調理場でトンカツの肉を切断中、まな板上の肉が滑り左人差し指を切傷した。その時間帯は来客で店内は混雑し多忙を極めていた、そのためアルバイト店員に肉の切断を任せきりで十分な指導をしなかったことが原因である。	17	140201	8	1~9	
2017	12	9~10	店舗内厨房で、チャーシュー用の肉を切っていた際、握っていた包丁が滑り、誤って左手首を切ってしまった。すぐに病院を受診し、入院、手術となった。	35	140201	8	10~ 29	
2017	12	17~18	被災者は、当作業所内8階および26階の冷媒配管工事の作業員として入場していた（当作業所がメインの勤務場だが、他の作業所での勤務もあった）。被災者は、約2週間、工事用エレベーターを利用せず、8階から26階（階高4m、18フロア分）間の作業工具（30kg程度）の上げ降ろしを人力で数回に亘り行った。また、手工具（10~20kg）についても上げ降ろしを数回人力にて行った。	32	30201	19	1~9	
2017	12	10~11	社内の栄養課調理下処理室にて、野菜の切り込み作業をしていた際に、誤って包丁で左手親指を切ってしまった。	19	130101	8	30~ 49	
2017	12	9~10	店内調理作業所内にて、作業用テーブルでウインナーを切っていた時に、手が滑って左手親指を切り受傷した。	56	80209	8	10~ 29	
2017	12	8~9	青果作業場内、カット野菜作業台にて、かぼちゃのカット作業を行っていた。包丁を入れた際、かぼちゃが不安定であったため、かぼちゃがずれ、包丁の刃先が身体側に向いた際に、左手親指の先端を裂傷した。	61	80209	8	50~ 99	

2017	12	15~16	食肉加工中に包丁を滑らせ左指を切ってしまい3針縫う怪我をした。	27	80109	2	10~ 29
2017	12	10~11	店内厨房にて、トマトを6枚にスライスするスライサーを片付け中に手が滑って刃部分に触れてしまい、負傷したものである。	19	140201	8	500 ~ 999
2017	12	12~13	キッチンでネギを切り、ザルに移す際に包丁が左手の平に刺さった。	66	140201	8	30~ 49
2017	12	9~10	工場内において、ステンレスの曲げ作業をしている際、誤って右手第2指の先端部をハンマーで叩いてしまい、受傷したものである。	21	11209	7	1~9
2017	12	5~6	夜勤終了作業を行っていた際、トーピードくり抜き作業（ボールで、付着した餅状のプラスチックをはぎ取る作業）で、誤ってボールが滑り、胸に当たり受傷したものである。	43	10805	6	10~ 29
2017	12	13~14	工場内で年末の片付け中、スクラップ廃棄する配管の付属バルブを取り外していた時、ボルトが共回り状態になったので、ナット側にスパナを掛けて定盤につかえ固定をし、ボルト側にメガネスパナを掛けて緩めようと力を入れたとたんに固定していたナット側のスパナが外れ、ス力をくらった勢いでメガネスパナを握っていた右手を定盤にぶつけてしまい、右手の指先をスパナと定盤で挟む状況となり負傷してしまった。	56	30203	7	10~ 29
2017	12	10~11	のし餅の袋を切る際にカッターで左手親指を切ってしまった。	16	80209	8	50~ 99
2017	12	21~22	店内案内所にて、のし餅切りの作業が終わり、包丁と他の商品の片付けをしていたところ、包丁の刃先が右手人差し指に当たってしまい負傷した。	22	80209	8	100 ~ 299
2017	12	9~10	店舗厨房にて、包丁でびんとろを切っている際に、誤って左手薬指を切ってしまった。	24	140201	8	100 ~

									299
2017	12	18~19	事業所倉庫内に於いて、翌日の現場（太陽光発電工事）の準備作業中、現場用の工具を揃えている時、棚から圧着工具が右足に落ち負傷したものである。	35	30301	4			10~ 29
2017	12	13~14	青果作業場にてカボチャをカットするためスライサーを用意した。刃が汚れていたため左手で刃を押さえ、右手に布巾を持って拭こうとしたところ、誤って右手中指第一関節と第二関節の部分を切ってしまった。当日は傷口を押さえそのまま帰宅し、翌日以降はあまり痛みもないため勤務していたが、後日に痛みがひどくなり病院を受診し、4針縫合した。	49	80209	8			100 ~ 299
2017	12	8~9	本館中2階厨房にて、当日のランチ使用分のごぼうをカットしていた際、誤って左手人差し指先端部分を3mm程度切除したものである。	23	140101	8			1000 ~ 9999
2017	12	5~6	店舗にてまな板に貼り付いた冷凍まぐろのサクを包丁で剥がす際、誤って小指第一関節辺りを切ってしまった。	44	140201	8			1~9
2017	12	10~11	店舗にて試食販売実施中に、同店の調理場にて試食販売用の長ネギを刻んでいた際に、誤って包丁で左手中指の爪と指を切り落としてしまった。	60	80209	8			100 ~ 299
2017	12	15~16	庭で人工芝を敷く作業中、寸法調整のため定規に沿ってカッター（押し出し式、最大刃渡り約12cm）で人工芝を切っていた。そのとき、カッターの刃が人工芝を滑り、勢い余って定規を押さえていた左手親指先を切断してしまった。	72	80209	8			1~9
2017	12	18~19	厨房の清掃作業中、万能押切包丁（刃渡り約30cm、刃先が台に固定されている包丁）を洗っている際、右手にスポンジを持ち刃の部分を拭き取っていたところ、右手の示指第一関節付近に誤って刃が触れてしまい、切創したものである。当日は勤務を続けたが夜から体調が悪くなり、翌日出勤したがやはり具合が悪く早退し、受診した。	58	80209	8			1~9

2017	12	8~9	青果作業場で、キャベツの半切り作業をしている時、開店前で、急いで作業をしていた為、包丁で削いでしまった。	20	80209	8	50~ 99
2017	12	2~3	ケーキ製造作業でパレット（ケーキを掬うナイフのような物）を使って、コンベアーからケーキをトレイに移す作業をしていた。その際、パレットを持った右手中指の神経を圧迫してしまい、中指第二関節から指先までが引きつった状態となってしまった。	26	10104	19	300 ~ 499
2017	12	10~11	精肉作業場で作業台に向かって包装作業をしている時に、包丁が台の上に置いてあったが、不注意で包丁が台の上から落ちそうになり、とっさに左手が出て、怪我をした。	26	80209	8	30~ 49
2017	12	11~12	当該事業所において、食材の仕込作業中、まな板のバランスが崩れ包丁が滑り、左手に刺さってしまった。まな板はそのまま落ちて左足に当たり、打撲したものである。その後2週間ほど経過した頃、左手が腫れてしまい再度受診したところ、傷の中に菌が残って化膿しているとのことで、切開して膿を出す処置をしてもらい、休業となった。	54	10109	8	1~9
2017	12	8~9	惣菜作業場内で包丁を洗浄中、手を滑らせて包丁を落とした際、誤って包丁に触れ、右手人差し指を負傷した。	17	80209	8	100 ~ 299
2017	12	11~12	水産作業場で、使用後の包丁を水洗いし、水分を取るためにカウンタークロスで刃の部分を拭こうとした際、カウンタークロスを強めに刃に当てて引いたため、右手親指を切った。	44	80201	8	300 ~ 499
2017	12	14~15	精肉作業場でスライサーを使って肉を加工していた際、加工用の肉を隣の作業台に取りに行き、積んでおいた肉を取ろうとしたところ滑り落ちた。肉を受け止めようと咄嗟に手を出したところ、同じ作業台で加工作業を行っていた包丁と接触して切った。	48	80209	8	50~ 99
2017	12	8~9	鮮魚バックヤードにて、ふぐの調理中に包丁が滑り、添えていた左手中指の付け根を切った。	24	80209	8	50~ 99

2017	12	12~13	厨房内フライヤーの作業台にて、包丁でニラを切っているときに手元を誤り、左手親指を包丁で切傷した。	18	140201	8	30~ 49
2017	12	11~12	作業中にカッターナイフが左腕に当たり、切ってしまった。	39	11709	8	10~ 29
2017	12	11~12	児童寮にて、野菜の下処理をする際に包丁が滑り、左手人差し指に8針縫う程度の切り傷を負った。	50	80209	8	1~9
2017	12	8~9	井戸水ポンプを解体中、本体とパイプを外す作業をしていたところ、上部接続部をパイプレンチで外したとき、自重でパイプが落下し、固定用バイス・レンチ・パイプの間で支えていた両手を挟まれた。	47	11203	7	50~ 99
2017	12	5~6	食料品製造で衛生上のため機械を洗い場まで持って行き、その機械を分解して清掃中、ギアの一部部品が固くて取れなかったため、ナイフでその部品を取ろうとしたときに手元が滑り、左手親指を切ってしまった。通常は専用の道具で取るものだが、近くにナイフがあったため、誤って使用した。	73	10104	8	100 ~ 299
2017	12	21~22	当事業場のウォッシャーで食器等を洗浄したあと、拭き上げ場でラックで運んでいた。その際、他の調理器具に体が触れて、鉄板が落下し、足の指に直撃した。	18	140201	4	50~ 99
2017	12	13~14	酒粕を包丁で切る作業が終わったあと、テーブル上の酒粕の残粉を片づけていたところ、包丁をテーブルに置いたまま作業したため、包丁に手が接触し、右手人差し指第2関節を切った。	31	170101	8	50~ 99
2017	12	13~14	酒粕を切り分ける作業終了後、作業台上の物の上に置かれていた包丁の刃先が浮いていたが、そのまま作業台の片づけをしていた。包丁の刃先に手が接触し、右手人差し指を切った。	31	10105	8	10~ 29
2017	12	10~11	キッチンにて、半冷凍状態の和牛サーロインのスジを取る際、包丁が滑り、原木を持っていた左手の親指の外側を負傷した。	19	140209	8	10~ 29
			山間部で測量（観測作業）中、視通障害の竹を伐採し、斜面で伐				50~

2017	12	11~12	採した竹を鎌を使って細かく切っているとき、誤って鎌の刃が右足向こう脛に当たり負傷した。	41	170101	8	99
2017	12	17~18	キッチンにて野菜を包丁でカットしていた際、左手の人差し指を切り、病院で5針縫合した。	22	140201	8	10~ 29
2017	12	11~12	山間部で測量（観測作業）中、視通障害の竹を伐採し、斜面で伐採した竹を鎌を使って細かく切っているとき、誤って鎌の刃が右足向こう脛に当たり負傷した。	41	170209	8	10~ 29
2017	12	11~12	当社店舗内の惣菜調理場にて、惣菜調理作業中、作業台下の冷蔵庫を開けて商品を取ろうとした際、作業台に置いてあった包丁が冷蔵庫開閉の振動で落下し、落ちてきた包丁で左手薬指を切り負傷した。	47	80209	4	50~ 99
2017	12	10~11	2件目の荷解き作業の客宅に到着し、養生後に荷下ろしを開始した。ネット付き毛布で梱包しているテレビの台の紐が固結びになっており、2人で紐を解こうとしたが、解くのが困難と判断したため、加害者は自分で持っていたカッターで紐を切った。荷解きの顧客からの要望で、急いで作業をしていたため、紐を切った勢いで、横にしゃがんでいた被災者の右足大腿部に切傷を負わせてしまった。	20	40301	8	100 ~ 299
2017	12	18~19	両手とも、軍手およびゴム手袋を2重に着用し、加工場で丸鶏をぶつ切りにする作業を行っていた際、左手に丸鶏、右手になた包丁を持ち作業を行っていたところ、手元を誤って、なた包丁で左手親指先を切断した。	58	10101	8	50~ 99
2017	12	0~1	店舗2階厨房において、キャベツの芯を取っていた際、誤って包丁が左手親指の内側に刺さり、切ってしまった。	26	140201	8	50~ 99
2017	12	11~12	施設厨房内で切り込み作業中、南瓜を切っているとき、包丁で左手人差し指を切ってしまった。	45	130201	8	30~ 49
2017	12	12~13	調理場内の作業台で野菜の切り込み中に、硬い野菜を切っていて	56	80209	8	1~9

			手が滑り、左薬指を誤って包丁で切除した。				
2017	12	15~16	店の精肉作業場で、鶏モモ肉を唐揚げ用に商品化しているとき、肉を支えていた左手に包丁を落とす位置を間違えて、左手薬指の指先を約1/3削ぎ落とした。	23	80209	8	100 ~ 299
2017	12	11~12	改築工場の現場において、室内で鋼製棚の分解中、下で作業していたところ、上で作業していた人が誤ってインパクトを落とし、右足の中指に直撃し負傷した。当日痛みはあったが夕方まで作業し、会社に帰ってから靴下を脱いだところ、腫れが酷かった。右足中指第1・第2関節骨折で全治2週間となった。	59	30201	4	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html